

うらやす 市民大学

募集案内
2023^秋—2024^春

令和5年度募集期間

7月18日(火)～8月31日(木) ※必着

目次

市長・学長あいさつ	1
うらやす市民大学の概要	3
市内における活躍の場	4
募集要項	6
履修モデル	7
必修講座のご案内	8
自由選択のご案内	17

01 | 市長挨拶

令和5年度うらやす市民大学受講生募集にあたって

うらやす市民大学は、市民自らがまちづくり活動を行うために必要な知識及び技能を学ぶ機会を提供するため、平成21年度に開校しました。

令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため休校しましたが、その間、市民大学の在り方について検討を行い、「市民自治によるまちづくりの推進」など新たに3つのコンセプトを掲げ、令和4年10月に再開しました。

さて、近年、地震や風水害など想定できない状況の発生や、少子高齢化などに伴い社会情勢が急速に変化してきており、市民や地域コミュニティ、市民活動団体など多様な主体が、市や議会とともに、担い手となってまちづくりを進めていくことが一層必要となっています。

このようなことから、令和5年度秋学期及び令和6年度春学期の講座につきましては、本市における地域課題や行政ニーズなどを踏まえ、介護予防や防災などの講座を継続するとともに、子育て環境や環境保全、多文化共生、まちづくり形成史をテーマとした講座を新たに設けました。また、多様な世代の市民に受講していただけるよう、土日に開講する講座を増設したところです。

講座における学習の成果を、ご自身の生活はもとより、コミュニティ活動や市民活動など、まちづくり活動に活かしていただきたいと思いますと考えています。市としましても、市民の皆様とともに活力ある地域社会を形成し、誰もが幸せを実感できるまちづくりを進めてまいります。

うらやす市民大学において、学びを通じて生きがいを再発見し、地域の様々な場面でご活躍されることを祈念します。

令和5年7月

浦安市長 内田悦嗣



02 | 学長挨拶

市民の自主的で主体的なまちづくりを拓く 新たな「うらやす市民大学」発足2年目に思う

コロナ禍のもとで2年間休校していたうらやす市民大学が、「市民自治によるまちづくりの推進」「市民の自主的なまちづくりを拓く市民大学」「受講生の関心に応じて深化・発展させる学習環境づくり」をコンセプトに、昨年の令和4年10月に再開してからほぼ1年が経とうとしています。うらやす市民大学では、2年制の「まちづくりサポーターコース」が新たに設置され、1期生の学びが始まっています。

また、令和5年度秋学期・6年度春学期に開講される自由選択コースでは、介護予防、公衆衛生、環境、まちづくり、多文化共生、子育て、防災など、健康・福祉、環境・都市、文化・教育・キャリアに関わる多彩な12の講座が準備されています。自由選択コースでの学びをもとに「まちづくりサポーターコース」への編入も可能ですので、令和4年度秋学期・令和5年度春学期で学ばれた方の同コースへの申し込みも大いに期待しています。

いま、世界でも日本でも持続可能な社会をどうつくるか、が大きな課題となっています。2015年に国連で採択された持続可能な開発目標（SDGs: Sustainable Development Goals）では、17の目標と169のターゲットが掲げられ、17の目標ではたとえば、1. 貧困をなくそう、3. すべての人に健康と福祉を、4. 質の高い教育をみんなに、5. ジェンダー平等を達成しよう、11. 住み続けられるまちづくりを、13. 気候変動に具体的な対策を、17. パートナースhipで目標を達成しよう、などが示されています。コロナパンデミックもそうでしたが、これからの市民の学びと実践にはグローバルな課題とローカルな課題をつなげて考える「グローバル」な視点も求められています。

うらやす市民大学を受講するなかで、仲間とともに学びあい、また講師の先生方や浦安市の職員の方々とともに学びあうなかで、まちづくりのために何ができるか考えてみませんか。

多くの市民がうらやす市民大学を受講されることを心から願っています。

令和5年7月

うらやす市民大学学長 長澤成次



03 うらやす市民大学の概要

■趣旨：「うらやす市民大学」は、まちづくり活動を行うために必要な知識や技能を学び、市民自らが地域に貢献するまちづくりの担い手となり、活躍するための学びの場です。

市民大学の新たなコンセプト

- 「市民自治」によるまちづくりの推進
- 市民の自主的なまちづくりを拓く市民大学
- 受講生の関心に応じて深化・発展させる学習環境づくり

■特色：うらやす市民大学には2種類の受講形態があります。

①まちづくりサポーターコース（定員 30名）

市民が、地域課題をめぐって、自分の関心を自由に膨らませながら、自分たちで考えて行動するための知識や技能を体系的に学ぶことができるコースです。必修講座や自由選択講座など、規定の講座数を受講することで、2年間で10講座20単位の取得を目指します。2年次の春学期に開講されるゼミ形式の修了演習では、市民活動やフィールドワーク等に取り組みます。修了した際には、修了証が授与されます。

2年間で規定単位が取得できなかった場合、1年次から4年間取得した単位については有効とします。

○まちづくりサポーターコースの修了までの流れ

	1年次		2年次	
	秋学期(10月～3月)	春学期(4月～9月)	秋学期	春学期
必修	市民自治論	行政のまちづくり論	市民のまちづくり論	修了演習
自由選択	開講科目(各学期6講座予定・2年間で最低6講座を修了する必要があります)			
	開講分野 健康・福祉／環境・都市／文化・教育・キャリア			

②自由選択コース

ご自身の関心やまちづくり活動の状況に合わせて受講することができます。

※過去に自由選択コースを受講したことがあり、まちづくりサポーターコースに参加を希望する場合は、うらやす市民大学事務局までご相談ください。

■授業科目：学期ごとに必修講座2科目、自由選択講座6科目の開講を予定しています。

■授業時間：1授業90分

1時限目：10：00～11：30／2時限目：13：00～14：30／3時限目：15：00～16：30

■受講料：1講座（10回）あたり5,000円

※参加証明書の発行について

うらやす市民大学では若い世代の受講を促進するため、生徒や学生が学校等への提出を目的に参加証明書の発行を希望する場合、出席状況やレポートの提出等を踏まえて発行します。

詳しくは事務局にお問い合わせください。

浦安市まちづくり基本条例とうらやす市民大学の関わり

令和4年4月1日に施行した「浦安市まちづくり基本条例」では、まちづくりの基本的な考え方として「まちづくりは、市民の意思に基づいて進められることを基本とする」としており、「市民は、まちづくりを進めるに当たり、自らできることは自ら、自分たちでできることは自分たちで考えて実践する」と定めています。また、まちづくりの基本原則の一つである「参加と連携協力の原則」により、市民、市及び議会は、市民の参加により、連携協力してまちづくりを進めることとしています。

うらやす市民大学は、浦安市まちづくり基本条例の考え方に則り、市民の自主的なまちづくりを拓く人材育成の場として、市民自治によるまちづくりを推進します。

04 市内における活躍の場

市内では、市民が主体となって、コミュニティづくりや地域課題解決のために、様々な分野でまちづくり活動を展開しています。また、市には活動を支援するための施設や支援制度などがあります。

市民大学での学習をきっかけに、ご自身の形で、まちづくり活動を始めたり参加したりしてみませんか。

■地域活動団体

まちづくり活動の中で最も身近な活動は、自治会や老人クラブ、PTA、マンション管理組合など、特定の地域において行う活動です。

ここでは、地域活動団体における活動への参加の一例を紹介します。

【例】自治会との関わり方

地域コミュニティの中核をなす自治会は、各種の会合、自治会まつり等、多くのイベントを開催しています。これらの活動に積極的に関わることで、コミュニティづくりや、防災・防犯、地域福祉等の課題解決に取り組みます。

■市民活動団体

まちづくり活動の中で、特定のテーマ分野で行う公益的活動を市民活動といいますが、市内では、多くの団体が多様な分野で活動しています。

団体の支援を目的に運営している浦安市市民活動センターの利用承認を受けている団体は令和5年3月末時点で240団体あり、様々な分野の市民活動が市内で行われています。



保健・医療・福祉の増進

- ・高齢者の在宅療養に伴う相談、支援活動。
- ・認知症カフェとして、悩み事の相談や集いの場を提供。
- ・高齢や病気、障がい等でお困りの方に、掃除や調理、買い物の付き添い等を実施。
- ・障がいのある方の居場所や自立支援、自立訓練の実施。



子どもの健全育成

- ・地域が抱える子どもの孤食や貧困の解消に向けたこども食堂の運営。
- ・先輩ママ達が悩み事の相談に応じ、地域の子育て親子を支援。
- ・子どもや家族に関する悩みを持つ方へ、情報提供や心理的サポートの実施。



環境の保全

- ・回収された古着の再利用、資源のリサイクルに関する見学会や勉強会の開催。
- ・地域猫（飼い主のいない猫）の問題でお困りの方への相談に応じる。
- ・市民が水辺に関心を持ち、大切さを学んでもらうためのイベントの実施。

市民活動センターとは・・・

市民活動やボランティア活動を行っている団体やこれから始めようとする人たちに「相談対応」「情報」「活動拠点」「ネットワーク」「備品」といった社会的資源を提供し、様々な側面から市民活動を支援しています。

コーディネーターが常駐しているので、団体の立ち上げに関する相談や運営方法へのアドバイスなど気軽にご相談いただけます。「ボランティアをやりたい」「地域のために役に立ちたい」「市民活動に関心がある・もっと知りたい」とお考えの方はぜひご利用ください。



住所：〒279-8501 浦安市猫実1-1-1（市庁舎10階） 電話：047-305-1721 F A X：047-305-1722
Eメール：shiminkc@jcom.home.ne.jp ホームページ：http://www.u-shimin.genki365.net
開館日：日曜日～金曜日 午前9時～午後5時 休館日：土曜日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）



■様々な形でのまちづくり活動への関わり方

まちづくり活動への関わり方については、様々な方法や場面があります。

ここでは、うらやす市民大学の講座受講後、どのような活動場面があるのか、その一例を紹介します。

例① 新たなまちづくり活動団体を立ち上げる。

(講座を受講した方)

- 選択講座で防災分野の講座を選択し、地域防災計画に関することや災害時の自助に関する取り組みについて、理解を深めた。
- 自身も防災士の資格を有しており、地域の為に知識を伝えていきたい。
- 団体を立ち上げるにあたり、会員の確保に必要なチラシの作成を行いたいが、費用面で不安がある。
- 団体の運営に関し、運営のコツや他の団体がどのような運営を行っているのか知りたい。

(浦安市)

- 市民活動補助金制度により、団体の会員確保に向けた事業に補助金を交付し、支援する。
- 市民活動センターにより、団体が安定的かつ継続的に活動が行えるよう、課題解決につながる講座等を実施し、支援する。また、団体が交流する機会を設け、団体相互の連携協力を促進する。

市民活動補助金制度とは…

市民活動団体が行う事業の経費の一部を補助することにより、自主性のある市民活動と市民活動団体の自立を促進させるための制度です。

上限額 10 万円の「自立促進事業（はじめの一步）」と、上限額 50 万円の「活性化事業（ステップアップ）」の 2 種類があり、事業実施の前年度に募集を行い、第三者機関による候補事業の選定を経て、市が補助対象候補事業として決定した後、事業の実施年度に交付申請が可能となります。

例② 既存のまちづくり活動団体の活動に参加する。

(講座を受講した方)

- 選択講座で環境分野の講座を受講し、ごみ問題から見える社会づくりのヒントについて、理解を深めた。
- あわせて、まちづくり活動団体の運営に関する講座を受講し、会員確保の方法などについて、理解を深めた。
- 新規で団体を立ち上げるよりも、既に活動している団体のサポートから始めたい。
- 普段の生活で SNS を多く利用している。

(悩みを抱える団体)

- 地域の環境美化活動を行っている団体「うらやすクリーンズ（仮称）」。
- 事業が固定化しているが、新たな事業（アイデア）が不足している。
- 10 年以上活動を継続しているが、会員の高齢化により新たな担い手が必要。

(浦安市)

- 市民活動センターにより、相談のあった団体と講座を受講した方をつなぐ。

(講座を受講した方 + 団体 + 浦安市)

- 講座を受講した方の視点から新たな事業（アイデア）が生まれるとともに、SNS を活用した事業の周知、新たな会員の確保につながる。

【市民活動に関するお問い合わせ】

浦安市 市民経済部 市民参加推進課

〒 279-8501 浦安市猫実 1-1-1 電話：047-712-6059（直通） Eメール：shiminsanka@city.urayasu.lg.jp

05 令和5年度募集要項

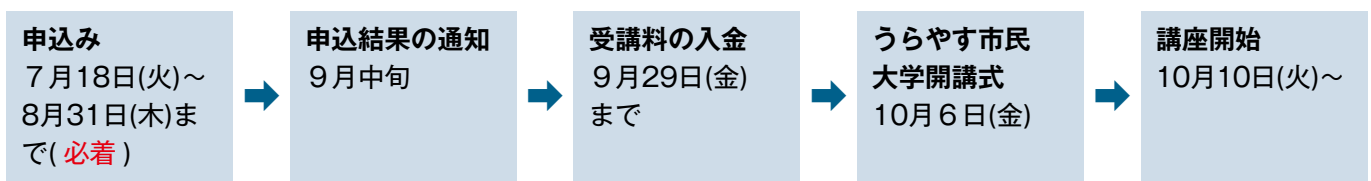
- **申込資格**： 本学の趣旨に賛同する市民で、まちづくり活動を積極的に行う意欲のある方。
また、うらやす市民大学の受講年限を超えていない方。
ただし、申し込み多数の場合は抽選となります。

うらやす市民大学の受講年限
うらやす市民大学は通算5年を超えて申し込みをすることができません。
ただし、5年に達した年度の翌年度から2年を経過した場合は再度申し込むことができます。

※秋学期、春学期に関わらず、一度の申し込みで1年受講したものとみなします。

- **申込期間**： 令和5年7月18日(火)から8月31日(木)まで(必着)
- **申込手続**： 受講申込書に必要事項を記載のうえ、市民大学校または市民参加推進課(市役所3階)にご持参、または市民大学校まで郵送してください。
市民大学校及び市民参加推進課での受付は、土日祝日を除く午前8時30分から午後5時までです。
- **申込結果**： 申込結果は受講の可否にかかわらず、9月中旬に文書で通知します。
- **受講手続**：
 - ・ 受講者は結果通知に記載の手続き(受講料の納入)を所定の期限までに行ってください。
 - ・ 受講料の納付書は、結果通知とともに送付します。
 - ・ 納入された受講料は、途中で受講を中止した場合でも返還しません。
 - ・ 受講にかかる教材費や交通費など、別途実費負担が発生する場合があります。
- **注意点**：
 - ・ 申込人数によっては、講座を開講しない場合があります。
 - ・ うらやす市民大学に専用の駐車場はありません。
 - ・ 必修講座は、まちづくりサポーターコースをお申し込みの方のみ受講することができます。
 - ・ 講義の日時・内容は、開講後に変更となる場合があります。
- **個人情報の取り扱いについて**：
浦安市では、「個人情報の保護に関する法律」及び関連規定に基づき、皆さんの個人情報を正しく安全に取り扱う運用を行っています。申込時に提出していただいた氏名、住所、その他の個人情報については浦安市市民大学校の業務でのみ使用します。

06 受講までの流れ



07 うらやす市民大学開講式のご案内

- **日時**： 令和5年10月6日(金)午前10時~11時30分(受付9時30分~)
- **場所**： 浦安市まちづくり活動プラザ3階第1多目的室(浦安市入船5-45-1)
- **対象**： 令和5年度秋学期及び令和6年度春学期にうらやす市民大学を受講するすべての方

日程	内容
10:00~10:30	開講式
10:35~11:25	学長基調講演 【講師】長澤 成次(千葉大学名誉教授/うらやす市民大学学長)

- **備考**： 欠席される場合の事前連絡は不要です。

08 履修モデル

◆まちづくりサポーターコース 講座履修例

応募動機

- ◎まちづくりに参加するきっかけとして申し込みをした。
- ◎安全安心な地域の環境づくりに貢献したい。
- ◎行政とも関わりがなかったため、市の方針や考え方を知りたい。

学びの内容

- ◎地域の安全安心には自治会活動だけでなく、子どもたちの教育や市内全域での活動でも貢献できると気が付いた。
- ◎行政がどのような視点で防災に関するまちづくりを行っているのかを知った。

まちづくり活動

- ◎地域の防災活動や防犯活動の担い手として活躍している。
- ◎学校や地域の子ども会と連携して防災・防犯教育を行う団体を立ち上げた。
- ◎修了演習で参加した災害ボランティアを継続し、市内で活動を行っている。

	1年次秋学期	1年次春学期	2年次秋学期	2年次春学期
必修講座 (4講座 8単位)	市民自治論 ・市民、行政、議会のあり方を学ぶ ・市民自治の考え方を学ぶ	行政のまちづくり論 ・防災も含めて行政が実際にしていることを学び、あわせて市民とのかかわりを学ぶ	市民のまちづくり論 ・地域で実際に活動を行っている方の視点から、まちづくり活動の実態を学ぶ	修了演習 ・フィールドワークとして、災害ボランティアでの活動を経験
選択講座 (6講座 12単位)	環境・都市 ・市内や県内には、どのような災害に関する課題があるのかを学ぶ	健康・福祉 文化・教育・キャリア ・防災に関係する授業があったため、「健康・福祉」講座、「文化・教育・キャリア」講座を受講	環境・都市 文化・教育・キャリア ・防災と教育を掛け合せて活動もできるのではないかと思い、「文化・教育・キャリア」講座を受講	環境・都市 ・これまでの学習内容を踏まえ、再度、防災講座を受講

◆自由選択コース 講座履修例

応募動機

- ◎環境問題の啓発に取り組む団体に所属しているが、活動の幅を広げたい。
- ◎一緒に活動してくれるメンバーを増やしたい。

学びの内容

- ◎団体の会員にも共有したい課題や講義があった。
- ◎別の分野で他団体と連携した事例を聞き、活動のヒントとなった。

まちづくり活動

- ◎会員の勧誘や意識醸成のために、講義で取り扱った課題の講演会を行った。
- ◎市外の団体とも連携することができ、協力してくれる仲間が増えた。

	秋学期	春学期
選択講座	環境・都市 ・地域の課題の再発見のため、環境講座を受講	文化・教育・キャリア ・団体として活動できる幅を広げるため、環境問題とは異なる分野の講座を受講

09 必修講座一覧

令和4年度秋学期及び令和5年度春学期の必修講座は以下の講座を予定しています。

※必修講座はまちづくりサポーターコースの方のみ受講可能です。

○令和5年度秋学期

1年次

講座番号	2302- A
講座名	市民自治論 - これからのまちづくりに何が必要か -
コーディネーター氏名 (肩書き)	関谷 昇 (千葉大学大学院社会科学研究院教授/うらやす市民大学副学長)
授業期間・時間	令和5年10月20日(金)～令和6年3月8日(金)・10:00～11:30
掲載ページ	9

2年次

講座番号	2302-B
講座名	市民のまちづくり論 - 学びとまちづくり活動との好循環をつくる -
コーディネーター氏名 (肩書き)	長澤 成次 (千葉大学名誉教授/うらやす市民大学学長)
授業期間・時間	令和5年10月13日(金)～令和6年2月16日(金)・13:00～14:30
掲載ページ	11

○令和6年春学期

1年次

講座番号	2401- A
講座名	行政のまちづくり論 - 浦安市における行政のまちづくりの実態と市民との連携協力 -
コーディネーター氏名 (肩書き)	阪本 一郎 (明海大学名誉教授/うらやす市民大学副学長)
授業期間・時間	令和6年4月12日(金)～令和6年9月20日(金)・13:00～14:30
掲載ページ	13

2年次

講座番号	2401-B
講座名	修了演習
コーディネーター氏名 (肩書き)	長澤 成次 (千葉大学名誉教授/うらやす市民大学学長) 阪本 一郎 (明海大学名誉教授/うらやす市民大学副学長) 関谷 昇 (千葉大学大学院社会科学研究院教授/うらやす市民大学副学長)
授業期間	令和6年4月～令和6年9月
掲載ページ	15

市民自治論 —これからのまちづくりに何が必要か—

コーディネーター 関谷 昇（千葉大学大学院社会科学研究院教授／うらやす市民大学副学長）

【科目概要】

いま自治体は大きな転換期にあります。人口減少、少子高齢化、低成長経済、コミュニティの流動化が本格化するなか、私たちが生活する国・社会・地域・まちのあり方は大きく変わりつつあります。これまでの発想やしぐみでは、まちづくりを持続させていくことが困難になっていくことから、「公」「共」「私」の見直しや新たな形が問われ始めています。

このことは、「まちづくりの原点」を再確認することを意味しています。自分たちのまちの歴史・人・資源・課題・将来の可能性を知るということです。また、自分やまちを支えていくにあたっては、「誰が何をすべきか」ということを考えることも重要です。公共私流動化するなか、市民は自分（たち）で何ができるのか・誰に何を委ねるのかということの見直しを迫られています。それは同時に、自分にとって・まちにとって、どのような「つながり」が必要なのかということも改めて考えるということでもあります。市民自治とは、それを自分たちで考え、実践していくことを意味しています。

この講座は、市民自治の意味を学ぶことで、まちづくりの基本を考えることを目的としています。まちづくりが自分にとっていかに必要なことなのか、どのような可能性を切り拓くものなのか、様々な角度から考えていきます。

回	日程	内容
1	令和5年 10月20日(金) 10:00~11:30	<p>「囲い込み社会」から「越境する社会」への転換</p> <p>20世紀モデルが、領域・業界・専門性といった境界線に囲い込まれた社会で、その枠組みの中で諸活動が営まれていたとするならば、21世紀モデルは、その境界線が流動化し、様々なものが交わるであると言われます。その時代の転換期において、まちづくりはどうあるべきか？ その課題と方向性を確認します。</p> <p>講師 関谷 昇（千葉大学大学院社会科学研究院教授／うらやす市民大学副学長）</p>
2	令和5年 11月10日(金) 10:00~11:30	<p>「自治」の歴史（1）</p> <p>明治時代に翻訳語として定着した「自治」という言葉は、どのような意味を持って近代日本で用いられてきたのでしょうか。各々の時代における諸課題とこの言葉の意味を結びつけながら、町内会の歴史に見出される特徴を確認することによって、日本における自治の歴史を概観します。</p> <p>講師 関谷 昇</p>
3	令和5年 11月24日(金) 10:00~11:30	<p>「自治」の歴史（2）</p> <p>「自治」とは逆に、国家や官僚が市民を管理統制する体制が「官治」です。この中央集権的な「官治」の克服を目指し、自治体の自由度を高めて自立的な運営の実現を推進する地方分権改革は、この「自治」を目的としています。その現状と課題について確認しながら、今後の行方について考えます。</p> <p>講師 関谷 昇</p>
4	令和5年 12月8日(金) 10:00~11:30	<p>地域コミュニティの変容と課題</p> <p>地域コミュニティの自治は、合理化・効率化を求める近代化の文脈の中では、もっぱら克服の対象とされてきました。しかし、人口減少・少子高齢社会が本格化して、東京一極集中や都市型生活に歪みもたらされ、さらに行政主導の諸政策の限界が出てくると、改めて地域コミュニティが注目されるようになります。これからの地域コミュニティとはどのようなものかイメージを膨らませます。</p> <p>講師 関谷 昇</p>

回	日程	内容
5	令和5年 12月22日(金) 10:00~11:30	市民自治の理論 「市民」には何ができるのか? 「市民自治」の理論や思想を整理しながら、その具体的な考え方、実現方法、諸事例、今後の可能性について一緒に考えます。 講師 関谷 昇
6	令和6年 1月12日(金) 10:00~11:30	市民と行政 自治体政府は、首長と議会との二元代表制によって成り立っていますが、その一翼である自治体行政は、市民自治の観点からどのようにとらえることができるでしょうか。首長のリーダーシップ、市民の行政参加などはこれからどのように展開していくのか、その意義と課題について考えます。 講師 関谷 昇
7	令和6年 1月26日(金) 10:00~11:30	市民と議会 自治体政府のもう一つの担い手である自治体議会は、市民自治の観点からどのようにとらえることができるでしょうか。代表制を介した意思決定のあり方、選挙、市民の政治参加など、市民と政治とのかかわりはこれからどうなっていくのか、その意義と課題について考えます。 講師 関谷 昇
8	令和6年 2月9日(金) 10:00~11:30	浦安における「市民自治」 浦安において市民自治を具現化していく可能性を探ります。これまでの浦安まちづくりの特徴と課題を確認するとともに、いま見出される可能性を紐解きながら、これから市民・行政・議会は何をすべきかを考えます。 講師 関谷 昇
9	令和6年 2月16日(金) 10:00~11:30	まちづくりの新たな可能性・ディスカッション(1) これまでの講義を振り返りながら、これからのまちづくりの可能性について、一緒に考えます。 講師 関谷 昇
10	令和6年 3月8日(金) 10:00~11:30	まちづくりの新たな可能性・ディスカッション(2) これまでの講義を振り返りながら、これからのまちづくりの可能性について、一緒に考えます。 講師 関谷 昇

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

コーディネーターからのメッセージ

関谷 昇 先生

自分が日常生活を送っているこの「まち」は、いつまでもこのままで存在し続けるものではありません。社会情勢の変化、政治行政のあり方、自分たちの生き方によって変化していくものです。この「まち」がこれからどうなっていくのか、何を守り、何を变えていかなければならないのか。

その答えを考えていくのが市民であり、議論して実践していくのが市民自治です。ぜひ、一緒に考えてみましょう!



市民のまちづくり論 —学びとまちづくり活動との好循環をつくる—

コーディネーター 長澤 成次（千葉大学名誉教授／うらやす市民大学学長）

【科目概要】

うらやす市民大学の新たなコンセプトに掲げられている「市民自治」によるまちづくりを考えると、学びとまちづくり活動との好循環をつくるメルクマール（指標）の一つは市民の自主性・自発性が大切にされることです。その精神を浦安市まちづくり基本条例は「まちづくりは、市民の意思に基づいて進められることを基本とする」と表現しています。本講座では、「市民のまちづくり論」をめぐる論点を国際的動向にも学びながら、市民活動をサポートする行政や社会教育施設での取り組み、そしてさまざまな分野での市民活動の具体例から学びます。

回	日程	内容
1	令和5年 10月13日(金) 13:00~14:30	市民のまちづくり論（1） 千葉県内も含む日本におけるまちづくり・地域づくりに関わる社会教育の歴史をとりあげながら「まちづくり」の概念について考察するとともに、国際的動向をふまえながら市民主体のまちづくりについて考えます。 講師 長澤 成次（千葉大学名誉教授／うらやす市民大学学長）
2	令和5年 10月27日(金) 13:00~14:30	市民のまちづくり論（2） 第1回の講義をふまえて、受講生のこれまでのうらやす市民大学での学びや問題関心を共有する作業を通じて「市民のまちづくり論」を考えます。 講師 長澤 成次
3	令和5年 11月10日(金) 13:00~14:30	市民の学びの力をどう活かすか（1）—生涯学習・生涯スポーツとまちづくり 第2次浦安市生涯学習推進計画と事業及び浦安市生涯スポーツ推進計画と事業についての説明を担当職員からお聞きするなかで、浦安市における生涯学習・生涯スポーツによるまちづくりを学びます。 講師 浦安市生涯学習課／浦安市市民スポーツ課／長澤 成次
4	令和5年 11月24日(金) 13:00~14:30	市民の学びの力をどう活かすか（2）—市民活動をサポートする 浦安市市民参加推進課・地域振興課、市民活動センターは、市民活動やボランティア活動・自治会活動に対して、さまざまな社会的資源の提供を通じて支援しています。担当職員からの説明と施設の見学を通して学びます。 講師 浦安市市民参加推進課／浦安市地域振興課／浦安市市民活動センター／長澤 成次
5	令和5年 12月8日(金) 13:00~14:30	市民のまちづくりの実践から学ぶ（1）—福祉のまちづくり— 浦安市内で活動する「浦安介護予防アカデミア」、認知症カフェなどに取り組む「NPO キラキラ応援隊」、高齢などでお困りの方を助ける「たすけあいほとぼっぼ」などの具体的な実践から学びます。 講師 高齢者支援にとりくむ市民活動団体／長澤 成次
6	令和5年 12月22日(金) 13:00~14:30	市民のまちづくりの実践から学ぶ（2）—持続可能な社会づくり— 浦安市での環境保全に関する活動や環境学習について浦安市三番瀬環境観察館や、浦安三番瀬を大切にする会、温暖化防止うらやすの市民活動団体の実践から学びます。 講師 ㈱自然教育研究センター（浦安市三番瀬環境観察館環境学習受託業者）／環境保全にとりくむ市民活動団体／長澤 成次

回	日程	内容
7	令和6年 1月12日(金) 13:00~14:30	市民の学びを通して地域を創る浦安市立中央図書館 浦安市立中央図書館を訪問し、担当職員から事業内容を紹介していただきながら、実際に図書館で活動している市民の方からお話をさせていただきます。 講師 浦安市立中央図書館／図書館で活動する市民活動団体／長澤 成次
8	令和6年 1月26日(金) 13:00~14:30	市民の学びを通して地域を創る浦安市郷土博物館 浦安市郷土博物館を訪問し、担当職員から事業内容を紹介していただきながら、実際に博物館で活動している市民の方からお話をさせていただきます。 講師 浦安市郷土博物館／博物館で活動する市民活動団体／長澤 成次
9	令和6年 2月2日(金) 13:00~14:30	市民の学びを通して地域を創る浦安市中央公民館 1946年に文部省が「町村振興の底力を生み出す場所」として全国に設置を呼びかけた公民館。浦安市中央公民館を訪問し、担当職員から事業内容をお聞きするとともに公民館で活動する市民活動団体等からお話をさせていただきます。 講師 浦安市中央公民館／公民館で活動する市民活動団体／長澤 成次
10	令和6年 2月16日(金) 13:00~14:30	市民のまちづくり論—まとめ— これまでの講座をふりかえりながら「市民のまちづくり」をめぐる課題を受講生とともに考えます。 講師 長澤 成次

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

コーディネーターからのメッセージ

長澤 成次 先生

いま世界が激動するなか、市民ひとりひとりが、学びを通して未来を読み解く力と、持続可能な地域づくり・まちづくりをすすめる力量を豊かに身につけることが求められています。2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」は、だれひとり取り残さない、として17の目標と169のターゲットを定めていますが、このような国際的な動向も視野にいれながら、講座の中で共に学びあい、地域で活動する団体・グループ・NPOや自治体職員と出会うなかで、まちづくりへの確かな知見と想いが醸成されることを心から願っています。



行政のまちづくり論 —浦安市における行政のまちづくりの実態と市民との連携協力—

コーディネーター 阪本 一郎（明海大学名誉教授／うらやす市民大学副学長）

【科目概要】

まちづくりは行政が担うものと考えられていた時代から、担い手としての市民が注目される時代が変わっています。市民と行政の連携の重要性は一層高まっていますが、連携のかたちは、一律ではなくさまざまです。行政が今後もまちづくりで大きな役割を担うことは間違いありません。市民が自主的なまちづくりに取り組む際には、行政が何をどのようにしているかを学ぶこと、そして市民とどのように連携を取ろうとしているかを知ることが有用です。本講座では、限られたテーマをとりあげて、行政のまちづくりについて考えます。

回	日程	内容
1	令和6年 4月12日(金) 13:00~14:30	<p>埋立地の市街地づくりに行政はどのようにかかわったか</p> <p>浦安の3/4を占める埋立地を市街地に育てていくには、住民が不在ということもあり、とりわけ行政の働きが重要でした。利害関係者との交渉も含め、その過程を学びます。</p> <p>講師 醍醐 唯史（元浦安市都市整備部長）／阪本 一郎（明海大学名誉教授／うらやす市民大学副学長）</p>
2	令和6年 4月26日(金) 13:00~14:30	<p>住宅地づくりに行政はどのようにかかわっているか</p> <p>浦安の埋立地に形成された住宅地は、その良好な環境のゆえに首都圏の住宅市場で高い評価を得ています。しかし住宅地環境の悪化が容易に起こることは歴史的な事実でもあります。良い環境を維持するために行政は何をしてきたのか、そして高齢化が進む中で今後どのようにかかわるべきでしょうか。</p> <p>講師 浦安市都市計画課／阪本 一郎</p>
3	令和6年 5月10日(金) 13:00~14:30	<p>密集市街地の改善に行政は何ができるか</p> <p>全国の都市が防災の観点から密集市街地の改善を課題としています。しかし、地域の合意形成が進まず改善が実現しないケースが多いようです。この課題に浦安市はどのように取り組んでいるのでしょうか。</p> <p>講師 浦安市まちづくり事務所／阪本 一郎</p>
4	令和6年 5月24日(金) 13:00~14:30	<p>公園づくりにおいて行政は市民の協力をいかに得ているか</p> <p>公園建設は明治以来行政の独壇場でしたが、近年は維持管理も含めて市民を巻き込んだ政策がとられるようになってきました。どのようにして市民との協力が成り立っているのでしょうか。</p> <p>講師 浦安市みどり公園課／阪本 一郎</p>
5	令和6年 6月7日(金) 13:00~14:30	<p>高齢社会における行政と市民の役割</p> <p>21世紀の高齢社会は、従来の市民社会に大きな変更をもたらし、解決すべき問題を投げかけています。この問題に対して行政はどのように政策課題を定め、対応をとるべきでしょうか。市民との連携や役割分担のあり方について考えます。</p> <p>講師 浦安市高齢者包括支援課／阪本 一郎</p>
6	令和6年 6月21日(金) 13:00~14:30	<p>子育てへの行政の支援</p> <p>子育ては、以前は家庭内や学校の問題として扱われてきましたが、近年は行政の重要課題となっています。少子化、ジェンダー、就業構造、教育環境など社会的背景が大きく変わる中で、行政が子育て環境の改善にどのように取り組んでいるか、そしていかなる展望を描けるのかを考えます。</p> <p>講師 浦安市子ども課／阪本 一郎</p>

回	日程	内容
7	令和6年 7月5日(金) 13:00~14:30	大災害時の行政の役割と課題 大災害などの緊急時には、市民の行政への期待も高まり、行政も通常と異なる対応に迫られることとなります。東日本大震災の浦安市の対応はどのようなものであったか、また今後の課題は何かを考えます。 講師 浦安市危機管理監／阪本 一郎
8	令和6年 7月19日(金) 13:00~14:30	市民組織への行政のかかわりと展望 浦安市には、自治会、管理組合、ふるさとづくり推進協議会など各種まちづくり団体、国際交流団体等々、多種の民間組織があります。多くは民間の任意団体ですが、行政が業務を遂行する上でこれら民間団体を必要とするケースは多々あります。行政はどこまで民間団体にかかわっているのか、また行政が民間団体に何を望んでいるのかを考えます。 講師 浦安市地域振興課／阪本 一郎
9	令和6年 9月6日(金) 13:00~14:30	行政サービスと財政のバランス 行政サービスの制約条件の一つが財政です。浦安市は高水準の行政サービスを提供してきましたが、長期の収支見通しはそれを維持できる状況にあるのでしょうか。既にコロナによる税収減が行政に大きな影響を与えています。市民は行政に何を求めるかを取捨選択する必要はないでしょうか。 講師 浦安市財政課／阪本 一郎
10	令和6年 9月20日(金) 13:00~14:30	行政のまちづくりにはどのような特色があるか 行政はまちづくりに大きな力を持っていますが、その力の行使には様々な制約があります。正統性、効率性、透明性、説明責任などのことばは現代の行政に欠かせません。行政が市民と連携協力するとはどういうことなのかも含めて、浦安の行政について考えます。 講師 浦安市企画政策課／阪本 一郎

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

コーディネーターからのメッセージ

阪本 一郎 先生

まちづくりに関して行政は強力な力を持っています。皆さんがまちづくりに取り組む際に、この力と無関係に進めることも可能ですが、むしろうまく使うことを考えられてはいかがでしょうか。うまく使うためには、相手をよく知らなければなりません。この講座は、行政職員が講師を務めますので、いろいろな意味で行政のことを知る機会になることでしょう。



修了演習

コーディネーター 長澤 成次（千葉大学名誉教授／うらやす市民大学学長）
 阪本 一郎（明海大学名誉教授／うらやす市民大学副学長）
 関谷 昇（千葉大学大学院社会科学研究院教授／うらやす市民大学副学長）

【科目概要】

これまでの「まちづくりサポーターコース」での学びをふまえながら、受講生一人ひとりのまちづくりに関する問題意識・課題意識をもとに、どのような調査やフィールドワークを進めていくのか、また、そこで得た知見等をどのように修了レポートにまとめていくのかを受講生とともに学びあうことのできる演習とします。なお、本講座の成果として、修了レポートの発表会も予定しています。

演習における具体的な日程や進め方は担当講師毎に異なりますので、令和6年3月に行うガイダンスを踏まえ、登録を行っていただきます。

以下は概要となります。詳細は、担当講師からガイダンスで説明するとともに、さらに具体的な進め方は受講生との話し合いで決定します。

※受講対象はまちづくりサポーターコースの必修講座『市民自治論』『行政のまちづくり論』『市民のまちづくり論』を履修した方のみとなります。

回	日程	内容
演習 開始前	令和6年 2月16日(金) 14:45～15:45	演習についてのガイダンス・登録 進め方などについて各担当講師が説明し、その内容を踏まえ、まちづくりサポーターコースの受講生が参加したい演習に登録を行います。
1	令和6年 4月	オリエンテーション 各演習の担当講師と受講生が修了レポートで取り上げるテーマや研究の方法を検討します。
2～7	令和6年 4月～7月	修了レポートの作成・議論、指導 修了レポートの作成を行い、適宜内容の議論や講師からの指導、進捗状況の共有を行います。
8	令和6年 8月3日(土) 予定	修了レポート発表会 受講生及び市民に向けて修了レポートの発表会を行います。
9～10	令和6年 8月～9月	修了レポートの完成に向けた指導 修了レポートの完成に向け、講師が適宜指導を行います。

※上記日程以外に、必要に応じて担当講師の指導を受ける場合があります。

10 自由選択講座一覧

令和5年度秋学期及び令和6年度春学期の自由選択講座は以下の講座を予定しています。

○令和5年度秋学期

講座 番号	講座名 コーディネーター氏名（肩書き）		掲載 ページ
	授業期間	時間	
2302-01	うらやすで介護予防を進めるために ー住み慣れた町で最後まで自分らしく生きるためにー 櫻井 しのぶ（順天堂大学大学院医療看護学研究科教授）		19
	令和5年10月17日（火）～令和6年1月30日（火）	10：00～11：30 ほか	
2302-02	公衆衛生 ー健康づくりの基本となる考え方を整理するー 岩室 紳也（ヘルスプロモーション推進センター（オフィスいわむろ）代表）		21
	令和5年10月18日（水）～令和6年3月13日（水）	13：00～14：30 ほか	
2302-03	環境のために私たちにできること ー暮らしと環境とのつながりを捉え直すー 石井 雅章（神田外語大学グローバル・リベラルアーツ学部教授）		23
	令和5年11月26日（日）～令和6年3月10日（日）	13：00～16：30 ほか	
2302-04	浦安のまちづくり形成史を読み解く ー「町」から「市」になって40年ー 中山 高樹（地域政策プランナー／元浦安市市長公室長）		25
	令和5年10月19日（木）～令和6年3月7日（木）	15：00～16：30	
2302-05	多文化共生を進めるために 上杉 恵美（明海大学ホスピタリティ・ツーリズム学部教授）		27
	令和5年10月14日（土）～令和5年12月9日（土）	13：00～16：30	
2302-06	地域で支える子育て環境 ー全ての子どもが安心して育つことができる地域を創るー 矢藤 誠慈郎（和洋女子大学人文学部子ども発達学科教授）		29
	令和5年10月21日（土）～令和5年12月16日（土）	13：00～16：30	

○令和6年春学期

講座 番号	講座名 コーディネーター氏名（肩書き）		掲載 ページ
	授業期間	時間	
2401-01	浦安で、自分らしく、役割を感じながら、楽しく生き抜くために ー居場所・つながり・お互い様の必要性を考えるー 岩室 紳也（ヘルスプロモーション推進センター（オフィスいわむろ）代表）		31
	令和6年4月8日（月）～令和6年9月9日（月）	13：00～14：30 ほか	
2401-02	あなたが知らない水の話 ー身近な水の分析・利用・処理ー 斎藤 恭一（千葉大学名誉教授）		33
	令和6年4月9日（火）～令和6年7月2日（火）	15：00～16：30	
2401-03	花のまちづくりのための基礎講座 ー花・緑・人をつなぐガーデニングー 大嶋 陽子（ガーデンデザイナー）		35
	令和6年4月8日（月）～令和6年9月17日（火）	15：00～16：30 ほか	
2401-04	家族とまちを守るみんなの防災 ー家族の自助なくして、まちの共助なしー 中林 一樹（東京都立大学名誉教授）		37
	令和6年4月20日（土）～令和6年6月22日（土）	13：00～16：30	
2401-05	浦安のマンション居住の未来を考える ー超高齢社会の迎え方を考えるー 廣田 信子（マンション総合コンサルティング㈱代表／一級建築士／マンション管理士）		39
	令和6年4月15日（月）～令和6年9月2日（月）	13：00～14：30 ほか	
2401-06	高齢化する市民社会における経済と法 ー市民社会の「知」の探求ー 兼重 賢太郎（明海大学不動産学部教授）		41
	令和6年4月24日（水）～令和6年9月18日（水）	10：00～11：30	

うらやすで介護予防を進めるためにー住み慣れた町で最後まで自分らしく生きるためにー

コーディネーター 櫻井 しのぶ（順天堂大学大学院医療看護学研究科教授）

【科目概要】

介護予防に関する知識や必要な技術の習得、講座の参加者同士の協同学修、地域における介護予防についての問題点の抽出等を通じて、介護予防について学ぶ機会を提供します。

回	日程	内容
1	令和5年 10月17日(火) 10:00~11:30	介護予防とは 介護予防の概念からその受容性を学ぶとともに、介護予防への取り組みが及ぼす、まちづくりの必要性について考えます。 講師 櫻井 しのぶ（順天堂大学大学院医療看護学研究科教授）
2	令和5年 11月7日(火) 10:00~11:30	高齢者の身体の変化と介護予防 『老い』が私たちの身体にどのような変化をもたらすかを再確認し、介護予防に取り組む意義について学びます。 講師 原田 静香（順天堂大学医療看護学部先任准教授）
3	令和5年 11月21日(火) 10:00~11:30	低栄養予防と口腔機能向上 高齢期に適した健康づくりである「介護予防」のための低栄養予防と口腔機能向上の取り組みや、その意義と実践方法について、体験を交えてお伝えします。 講師 浦安市高齢者包括支援課
4	令和5年 11月28日(火) 10:00~11:30	ドクターズレストランのフレンチシェフに習う介護予防をテーマにした低栄養改善メニュー フレンチシェフが要介護状態を出来る限り遅らせることを目的とした老化予防と低栄養改善の本格フレンチ料理を提案します。調理実習と試食会を実施します。 講師 櫻井 雄司（ピストロシャテル シェフ）
5	令和5年 12月14日(木) 13:00~14:30	介護・寝たきりを予防するための骨格筋老化の基礎知識 ヒトが生涯にわたって健康で自立した生活を営むためには、日常動作の基盤となる筋肉量を維持することが必要不可欠です。当日は、介護予防の観点から、高齢者が運動する際に役立つと思われる高齢期骨格筋の特徴について紹介します。また、参加者の皆様の脚の老化度（ロコモ度）についても評価してもらう予定です。 講師 町田 修一（順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科教授）
6	令和5年 12月14日(木) 15:00~16:30	介護予防のための筋力トレーニングの実践方法 筋の老化の特徴やスポーツ医科学の理論に基づく運動プログラムや評価方法について紹介し、特別な施設や測定器具がなくてもできる介護予防のための筋力トレーニングを紹介する予定です。 講師 町田 修一
7	令和5年 12月26日(火) 10:00~11:30	浦安市が進める介護予防／介護予防アカデミアの活動 高齢期を豊かに過ごすための地域づくりを進めるために、地域包括支援センターの機能や行っている事業についてお伝えします。さらに、浦安介護予防アカデミアの実際についてお聞きし、自らの介護予防活動につなげます。 講師 浦安市高齢者包括支援課／浦安介護予防アカデミア

回	日程	内容
8・9	令和6年 1月15日(月) 13:00~14:30 15:00~16:30	介護予防を目指した「まちづくり」とは 介護予防を視点とした「まちづくり」(地域連携・市民活動との関係・行政との連携)を進めるための方法、介護予防リーダーの役割を探ります。 講師 齊藤 恭平 (東洋大学大学院ライフデザイン学研究科教授)
10	令和6年 1月30日(火) 10:00~11:30	まとめ「うらやすで介護予防を進めるために」 本講座で学んだこと踏まえ、今後のご自身生活にどのように実践していくのか。さらに、急速な高齢化を迎えるという「まちの問題」を抱えるうらやすが、今後どのようにあるべきかを皆さんで語り合います。 講師 櫻井 しのぶ

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

講座の様子



コーディネーターからのメッセージ

櫻井 しのぶ 先生

人生100年時代と言われる今日ですが、ただ長生きするのではなく、皆さん自立して人生を全うしたい(健康寿命)と願っています。そのためには、元気なうちからの介護予防の取り組みが重要です。私達が自らの介護予防について学び、地域で介護予防活動に取り組むことが、安心した老後の生活を送るために必要です。この講座では、介護予防の視点を持つことにより改めて浦安を見つめなおし、より充実した老後を送るために、私達に何ができるのかを考えていく機会にできればと思います。少しずつ新型コロナで制限されていた社会活動も再開してきました。自分らしく生きていくために、自分の介護予防だけでなく、誰もが安心して住み慣れた我が家で生きていける浦安市をもう一度私達の手で創るための時間にしていきたいと思っています。



公衆衛生－健康づくりの基本となる考え方を整理する－

コーディネーター 岩室 紳也（ヘルスプロモーション推進センター（オフィスいわむろ）代表）

【科目概要】

1854年に疫学の父と言われたジョン・スノウがコレラの原因となった井戸を特定したのが公衆衛生の原点でした。日本国憲法第25条2に「国は、すべての生活部面について社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」と規定しています。今や民間公衆衛生医を自認している私ですが、実は医学部時代には絶対公衆衛生の分野には進まないと思っていました。それは公衆衛生の本当の意味を、予防の難しさを理解していなかったからでした。公衆衛生は、専門家だけが推進することではなく、市民と専門家と行政が一緒になり、一人ひとりが、社会が健康になるためにできることを模索し続ける目指す取り組みの総称です。しかし、残念ながら未だに多くの医師や他分野の専門家までもが「予防」という言葉の奥深さを理解せず、安易に使うようになっていないのでしょうか。「マスクの装着は個人の判断」と打ち出した国はまさしく公衆衛生の向上及び増進を放棄したと考えています。公衆衛生の基本である、対話、議論を重ね、市民一人ひとりが今後の健康づくりの方向性について考え、道標を発見するための講座になるよう、一緒に取り組みたいと思っています。よろしくお願ひします。

回	日程	内容
1	令和5年 10月18日(水) 13:00~14:30	一人ひとりが健康に関して気になっているテーマの共有 受講生が健康に関して「気になっているテーマ」と「知りたいこと」 講師 岩室 紳也（ヘルスプロモーション推進センター（オフィスいわむろ）代表）
2	令和5年 11月8日(水) 13:00~14:30	「絶対ならない」から「虜になった」公衆衛生の魅力とは 公衆衛生の広大な守備範囲の罨と魅力を考える 講師 岩室 紳也
3	令和5年 11月22日(水) 13:00~14:30	感染症対策① 新型コロナウイルス対策を市民目線で総括する 講師 岩室 紳也
4	令和5年 12月6日(水) 13:00~14:30	感染症対策② 病原体に着目する意味 講師 岩室 紳也
5	令和5年 12月27日(水) 13:00~14:30	感染症対策③ 対策の混乱と今後の方向性を考える 講師 岩室 紳也
6	令和6年 1月10日(水) 13:00~14:30	そもそも「健康」とは？ WHO が考える「健康」を紐解く 講師 岩室 紳也
7	令和6年 1月24日(水) 13:00~14:30	公衆衛生対策の基本となる考え方① ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチ 講師 岩室 紳也
8	令和6年 2月7日(水) 13:00~14:30	公衆衛生対策の基本となる考え方② ヘルスプロモーション 講師 岩室 紳也

回	日程	内容
9	令和6年 2月21日(水) 13:00~14:30	公衆衛生と保健師 保健師が目指す浦安市の公衆衛生とは 講師 浦安市中央地域包括支援センター / 岩室 紳也
10	令和6年 3月13日(水) 15:00~16:30	市民による、市民のための公衆衛生とは なぜ、いま、「市民」が、「市民自治」が、「市民協働」が必要か 講師 岩室 紳也

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

講座の様子



コーディネーターからのメッセージ

岩室 紳也 先生

コロナ禍が一段落をしたように見えているにもかかわらず何となくモヤモヤしていませんか。それはコロナ対策が専門家主導で展開されてきたからです。本来の公衆衛生、健康づくりは市民主体の、生活に密着した地域づくりが基盤でなければなりません。公衆衛生の基本を体験し、浦安市の市民力で浦安市の公衆衛生をレベルアップしませんか。キーワードは「できる人が、できることを、できる時に、できるように」です。



環境のために私たちにできることー暮らしと環境とのつながりを捉え直すー

コーディネーター 石井 雅章（神田外語大学グローバル・リベラルアーツ学部教授）

【科目概要】

この講座では、持続可能な社会を支えるひとつの柱である環境に焦点をあてて、私たちの暮らしと環境がいかにして相互に関わっているのかについて、具体的な活動をしている方々のお話を聴き、現場（フィールド）での見学や体験を通じて理解を深めていきます。具体的には、気候変動・資源循環と廃棄物・生態系と生物多様性、農林漁業と食料という4つの領域について学びます。最終的には、毎回の意見交換やディスカッションを通じて自身の考えをまとめ、持続可能な生き方・暮らし方への変容に向けた具体的なアイデアを発表・共有します。

回	日程	内容
1	令和5年 11月26日(日) 13:00~14:30	持続可能な社会に向けた動きを理解する 「持続可能な開発目標（SDGs）」で示されているように、環境と社会・経済が調和した持続可能な社会づくりに向けた動きが様々な分野から取り組まれています。この回ではSDGsの概要を知り、私たちの暮らしとの関わりについて考えます。 講師 石井 雅章（神田外語大学グローバル・リベラルアーツ学部教授）
2	令和5年 12月10日(日) 13:00~14:30	気候変動のメカニズムと影響を理解する SDGsの中でも喫緊の課題として示されている気候変動について、そのメカニズムと自然及び社会への影響について理解します。また、生活の様々な場面への影響についても具体的に考えます。 講師 温暖化防止うらやす
3	令和5年 12月10日(日) 15:00~16:30	気候変動への緩和と適応を考える 2015年に示されたパリ協定を軸として、世界では産業革命以降の平均気温の上昇を1.5℃未満に抑えようとする取り組みが進みつつあります。日常生活とのつながりから気候変動への具体的な緩和と適応策を、参加者を交えて議論します。 講師 石井 雅章／温暖化防止うらやす
4	令和6年 1月21日(日) 10:00~11:30	浦安市クリーンセンター見学&解説 浦安市クリーンセンターを見学して、資源循環と廃棄物の問題について具体的に学びます。浦安市における再資源化と廃棄物処理の取り組みを現場レベルで理解した上で、日常生活とのつながりについて考察します。 講師 浦安市クリーンセンター
5	令和6年 1月21日(日) 13:00~14:30	循環型社会の構築に向けた動きを考える 世界的に進みつつあるサーキュラー・エコノミー（資源循環型経済）の考え方を理解した上で、地域においてサーキュラー・エコノミーを具体的に推進するための工夫について、参加者を交えて議論します。 講師 石井 雅章／チーム530
6	令和6年 2月18日(日) 10:00~11:30	地域における生態系の大切さを理解する 浦安市のような都市部においても生き物同士のつながりである生態系が成り立っています。私たちが暮らす地域がどのような生態系と結びつき、生き物に支えられているのかを体験的に学びます。 講師 (株)自然教育研究センター（浦安市三番瀬環境観察館環境学習受託業者）

回	日 程	内 容
7	令和6年 2月18日(日) 13:00~14:30	地域における生物多様性を実現する 生物多様性は希少種の保護という観点だけではなく、気候変動や自然災害などの影響にも緩やかに対応できるちから（レジリエンス）という観点でも重要な考え方です。地域における生物多様性の実現に向けてできる具体的なアイデアを、参加者を交えて議論します。 講師 石井 雅章／(株)自然教育研究センター（浦安市三番瀬環境観察館環境学習受託業者）／浦安三番瀬を大切にする会／浦安水辺の会
8	令和6年 2月25日(日) 10:00~11:30	地域における暮らしと農林漁業のつながりを理解する 私たちが日々生きるために不可欠な食料は、自然環境への働きかけを通じて得ています。地域における農林漁業と環境との関係性を浦安市郷土博物館の見学と解説を通じて理解します。 講師 浦安市郷土博物館
9	令和6年 2月25日(日) 13:00~14:30	環境と食料、農林漁業の関係性を考える 地域において安心・安全な食料を安定的に確保するにはどのようなことが必要でしょうか。今後の農林漁業と食料生産・消費のあり方について、地域の歴史と生活文化をふまえながら、参加者を交えて議論します。 講師 石井 雅章／浦安市郷土博物館
10	令和6年 3月10日(日) 13:00~14:30	持続可能な生き方・暮らし方を考える 第9回までの内容をふまえて、持続可能な生き方・暮らし方への変容に向けた具体的なアイデアを受講者自らが発表・共有します。さらに講師からのコメントをふまえて、地域で協働できることを考えます 講師 石井 雅章

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

コーディネーターからのメッセージ

石井 雅章 先生

サステナビリティ（持続可能な社会）への移行はどの地域で暮らす人々にとっても避けることができない課題です。その実現には普段の私たちの生活（人間活動）と自然環境がお互いにどのように関係しているのかを理解することが必要です。この講座では、浦安エリアで実際に活動している皆さんによる解説や意見交換を交えて、体験的に学ぶことを目指しています。お互いの立場や考えを尊重しながら、持続可能な社会の実現に向けて一緒に学んでいきましょう。



浦安のまちづくり形成史を読み解く－「町」から「市」になって40年－

コーディネーター 中山 高樹（地域政策プランナー／元浦安市市長公室長）

【科目概要】

私たちのまち「浦安」を舞台に、私たちが暮らす身近な生活エリアがどのように形成されてきたか、その歴史を市制施行後40年の流れを中心に学びます。

今日、私たちのまちが抱えている「まちづくり」の課題は何か、そして今後改善すべき方向性は何か、その多くはそのまちの成り立ちや都市構造そのものに起因していることが見受けられます。

この講座では、これまでのまちづくりの経緯を身近なエリアの字や街区ごとにトレースしながら、今後のまちづくりに向けたポジショニングをどうとるべきかを共に考えていきます。

回	日程	内容
1	令和5年 10月19日(木) 15:00～16:30	<p>まちづくり形成史を学ぶ意義</p> <p>カリキュラムの構成とテーマを説明しつつ、自分が住むまち（身近なエリア）を対象として、まちがどのように形成されてきたかを学ぶ意義を考えます。併せて受講生全員による自己紹介、関心事を述べていただくことで、受講生による情報共有を図ります。</p> <p>講師 中山 高樹（地域政策プランナー／元浦安市市長公室長）</p>
2	令和5年 11月2日(木) 15:00～16:30	<p>市制施行以降 40年のまちづくり形成史概観</p> <p>行政が掲げた「まちづくり目標」とその実践の具体化にむけた埋立事業や造成後の土地利用計画策定などの様々な行政計画の流れや、後背地（旧市街地）で進められた土地改良事業や海面埋立に向けた工事用幹線道路の整備の流れなどを学びます。なお当日は、郷土博物館のリニューアル展示を参考に実施します。</p> <p>講師 中山 高樹</p>
3	令和5年 11月16日(木) 15:00～16:30	<p>埋立地開発における開発者負担と漁業権補償</p> <p>千葉県臨海部の都市をつなぐ広域幹線道路網の整備と、海面埋立に伴って必要となる漁業関係者への補償、造成後の土地利用を具現化する開発事業者の誘致、そして造成のための事業費の捻出など、大きく2期にわかれて実施された海面埋立の流れを学びます。</p> <p>講師 中山 高樹</p>
4	令和5年 11月30日(木) 15:00～16:30	<p>鉄鋼団地、大規模レジャーランド、住宅地の3つの土地利用計画</p> <p>東京都心に通う中堅サラリーマン向けの住宅地供給、東洋一の大規模レジャーランドの開発、東京下町からまとまって転出してくる鉄鋼団地の建設など、埋立初期に定めた3つの土地利用計画が、その後、どのように変遷してきたかを学びます。</p> <p>講師 中山 高樹</p>
5	令和5年 12月7日(木) 15:00～16:30	<p>建設資材を中心とした鉄鋼団地の出現とその後の変遷</p> <p>鉄鋼団地の誘致とその後の2期（鉄鋼通り地区、港地区の一部）にわたる建設計画がどのように進められたか、また入船4丁目地区の鉄鋼団地関連の従業員向けの住宅地がどのように開発されてきたかを学びます。また港・千鳥地区でのその後に「物流基地」へ大きく変遷した経緯や、当代島・北栄3丁目地区等での「住工混在地区」の解消の受け皿にどう活用されたかを併せて学びます。</p> <p>講師 加藤 里行（浦安鉄鋼団地協同組合専務理事）／中山 高樹</p>

回	日程	内容
6	令和5年 12月21日(木) 15:00~16:30	C地区レジャーランド用地の変遷とA地区メインセンター開発 舞浜地区（C地区）の東京ディズニーランド開発を推し進めるため、美浜・入船地区の新浦安駅前の商業・業務開発エリアが他の民間開発事業者へ第三者分譲された経緯と、その後開発の協議状況や駅前広場や浦安シンボルロードの整備の流れを学びます。 講師 中山 高樹
7	令和6年 1月25日(木) 15:00~16:30	第2期埋立地域・新町地域（D・E-a地区）の開発変遷 浦安市の住宅地開発を大きく担ってきた公団開発は、日本住宅公団、住宅・都市公団、都市基盤整備公団、UR都市再生機構と国の方針転換とともに、分譲住宅中心から土地の分譲へと変わりました。また、千葉県企業庁の土地分譲も経営改革の影響を受けて、公共用地の引き継ぎ条件や民間開発事業者への土地分譲条件が大きく見直されます。そうした影響が今日に与えたものを考えます。 講師 中山 高樹
8	令和6年 2月8日(木) 15:00~16:30	三番瀬の埋立計画中止と新町（D・E-a地区）の都市計画見直し 堂本県政の誕生とともに、浦安市に隣接する浅海域の三番瀬を埋立てる市川2期埋立計画の見直しが発表され、多くの環境団体の関心を集める中、この計画は中止となりますが、これに伴った新町地域開発の見直しが大きく求められます。この経緯を学ぶことで、今日抱える課題を探ります。 講師 中山 高樹
9	令和6年 2月22日(木) 15:00~16:30	東日本大震災時の液状化被害と復旧対策 液状化被害の現況現状と記憶に新しいが、その後の対策としてこの10年、どのように取り組まれているかを学びます。また、被害が大きかった戸建て住宅地の現状を探索しつつ、建築・土木構造物（集合住宅・事務所ビル・橋梁・重要構造物等）における液状化対策の系譜と取組状況を学びます。 講師 石井 一郎（元浦安市副市長）／中山 高樹
10	令和6年 3月7日(木) 15:00~16:30	まちづくりビジョンの変遷と策定体制と担い手の考え方 浦安市は昭和48年策定の総合開発計画を基本に、時代の変化に対応しながら、第1期は(株)OLの「商住地区実施計画」を、第2期は企業庁の「住宅地基本計画」がベースになってきました。現在は市民参加が進み、総合計画（基本構想＋基本計画＋実施計画）が核となっていますが、時代が大きく変わりつつある今日、改めて「まちづくりの担い手」をどのように捉えるべきか、受講生の皆さんと考えます。 講師 中山 高樹

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

コーディネーターからのメッセージ

中山 高樹 先生

浦安のまちづくり形成史を読み解くことで、私たち市民がどのようにこのまちを愛し、今日抱えている様々な諸課題をどのように改善し、より魅力あるまちとしてつないでいるかを受講生の皆さんと考えます。そして、この学びを通じて、わかりにくい都市計画の仕組みや、まちづくりの理念や意味・方法などを少しでもわかりやすく伝えられればと願っています。



多文化共生を進めるために

コーディネーター 上杉 恵美（明海大学ホスピタリティ・ツーリズム学部教授）

インストラクター 明海大学学生

【科目概要】

私たちは今、国籍や民族が異なる様々な人々が生活する「多文化共生社会」の中にいます。本講座では、言語・暮らし・スポーツ・アート・国際協力などをテーマに取り上げ、活気あるディスカッションやワークショップを行います。この講座を通して様々な国の歴史や文化を知り、それぞれの意見や文化への理解を深めて、「共に生きる」ことの大切さを実感しませんか？

回	日程	内容
1	令和5年 10月14日(土) 13:00～14:30	<p>浦安市における多文化共生の取り組みと外国人市民の生活</p> <p>「浦安市多文化共生推進プラン」の概要や、浦安市における外国人相談窓口の状況を学びます。また、留学生をパネリストに迎えてパネルディスカッションを行い、外国人が感じる日本での生活について考えます。</p> <p>講師 浦安市地域振興課／明海大学留学生／上杉 恵美（明海大学ホスピタリティ・ツーリズム学部教授）</p>
2	令和5年 10月14日(土) 15:00～16:30	<p>ラグビーを通じた国際理解</p> <p>ラグビーチーム「浦安 D-Rocks」と一緒に多文化共生を考えます。外国人選手の母国の歴史文化、日本の生活の中で感じていること、日本人選手やスタッフとのコミュニケーションなどについてお話ししていただきます。</p> <p>講師 浦安 D-Rocks／上杉 恵美</p>
3	令和5年 10月28日(土) 13:00～14:30	<p>やさしい日本語の作り方</p> <p>浦安市国際交流協会が行っているやさしい日本語の取り組みを知り、やさしい日本語の作り方の基礎を学びます。</p> <p>講師 浦安市国際交流協会（UIFA）／上杉 恵美</p>
4	令和5年 10月28日(土) 15:00～16:30	<p>市民の活躍による「日本語学習支援」や「災害時の外国人支援」</p> <p>外国人市民のための日本語学習や災害時の支援は、浦安市と市民ボランティアが協力して行っています。これらの支援の体制や仕組みを知り、ボランティアに求められる役割や心構えを学びます。</p> <p>講師 浦安市国際センター／浦安市地域振興課／上杉 恵美</p>
5	令和5年 11月11日(土) 13:00～14:30	<p>ビジネスにおける国際理解</p> <p>旅行会社と総合商社勤務を経て起業し、国内外において多様なビジネスを活用し、様々な社会問題の解決に取り組む明海大学卒業生が、起業に至った経緯やビジネスにおける異文化コミュニケーションについて実体験をもとに話します。</p> <p>講師 横山 ひろ美（(株)WELLPORT 代表取締役）／上杉 恵美</p>
6	令和5年 11月11日(土) 15:00～16:30	<p>浦安市における多言語表記の取り組み</p> <p>浦安市のホームページや「広報うらやす」英語版 City News、市内の公共交通機関や交通標識、諸施設における案内文などの現状を、受講生が調べて報告します。</p> <p>講師 上杉 恵美</p>
7	令和5年 11月25日(土) 13:00～14:30	<p>市民の国際協力について知る</p> <p>リサイクルや創作などの活動を行うとともに、国際協力を行っている市民活動団体の取り組みなどについて知ります。</p> <p>講師 国際協力を行っている市民活動団体など／上杉 恵美</p>

回	日程	内容
8	令和5年 11月25日(土) 15:00~16:30	グループディスカッション：自分にできる国際協力とは？ 国際協力を行っている市民活動団体などとグループディスカッションを行い、受講生自身が今後どのように国際協力に関わっていくか、具体的な活動を考えます。 講師 国際協力を行っている市民活動団体など／上杉 恵美
9	令和5年 12月9日(土) 13:00~14:30	ワークショップ「Word Composition」 様々な国々の文字と意味を学びながら、活字を組み合わせて自分だけのアート作品を作ります。文字の形の面白さも楽しみましょう！ 講師 吉川 暢子（香川大学教育学部准教授）／伊 智博（香川大学教育学部准教授）／上杉 恵美
10	令和5年 12月9日(土) 15:00~16:30	多文化共生・ふり返りと今後の取り組み 本講座を通して学んだことや体験したことをふり返し、レポートにまとめた内容をふまえて、受講生それぞれが今後の具体的な活動計画を発表します。 講師 上杉 恵美

備考

- 科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。
- 受講生の皆さんが意見や考えをまとめる機会として、レポートを作成し提出していただきます。（提出期限は後日お伝えします。）最終回はそのレポートをもとに発表をしていただきます。

コーディネーターからのメッセージ

上杉 恵美 先生

明海大学の教員になって以来30年間、浦安市の移り変わりを見つめながら、多くの貴重な経験をさせていただきました。

この講座では、さまざまな立場や切り口から受講者の皆さんに「多文化共生」を考える良い機会を提供したいと思います。地元浦安市に根ざした活動を行っている方々との接点も生かして、皆さんが今後の具体的な行動に結びつけていただくことを期待しています。



地域で支える子育て環境—全てのこどもが安心して育つことができる地域を創る—

コーディネーター 矢藤 誠慈郎（和洋女子大学人文学部こども発達学科教授）

【科目概要】

令和5年4月1日にこども基本法が施行され、その基本理念は、全てのこどもが尊重され、大切にされ、健やかに育ち、社会的活動の主体として扱われることを求めています。この講座では、「全てのこども」に含まれる多様なこどもたちの具体的な姿を踏まえて、その課題の解決のために、地域の住民あるいは専門家として何ができるかをともに考えていきます。

回	日程	内容
1	令和5年 10月21日(土) 13:00~14:30	地域の力を活かしてこどもを支える（1） さまざまな地域住民の力を生かした子育て環境づくりについて、こどもと高齢者との交流事業やこども食堂の取組等を事例に学びます。 （コーディネーターによる講座のガイダンスを冒頭に行います。） 講師 権 法珠（和洋女子大学人文学部こども発達学科教授）／矢藤 誠慈郎（和洋女子大学人文学部こども発達学科教授）
2	令和5年 10月21日(土) 15:00~16:30	地域の力を活かしてこどもを支える（2） （1）での学びを踏まえたワークショップを通じて、地域の力を活かした子育て環境づくりの取組について考えます。 講師 権 法珠／矢藤 誠慈郎
3	令和5年 11月4日(土) 13:00~14:30	地域で子育てを支える（1） 子育てが幸せで楽しいものになるために、地域の住民や専門家にどのような支援ができるかについて、実践的な事例を踏まえて学びます。 講師 矢萩 恭子（和洋女子大学人文学部こども発達学科教授）／矢藤 誠慈郎
4	令和5年 11月4日(土) 15:00~16:30	地域で子育てを支える（2） （1）での学びを踏まえたワークショップを通じて、地域で子育てを支える取組について考えます。 講師 矢萩 恭子／矢藤 誠慈郎
5	令和5年11月18日(土) 13:00~14:30	特別な支援が必要なこどもを地域で支える（1） 障がいを持つこどもたちや医療的ケアを必要とするこどもたちが等しく育ち、学ぶ権利を実現するために、地域の住民や専門家にどのような支援ができるかについて、実践的な事例を踏まえて学びます。 講師 二宮 祐子（和洋女子大学家政学部家政福祉学科准教授）／矢藤 誠慈郎
6	令和5年 11月18日(土) 15:00~16:30	特別な支援が必要なこどもを地域で支える（2） （1）での学びを踏まえたワークショップを通じて、特別な支援が必要なこどもたちを地域で支えるための取組について考えます。 講師 二宮 祐子／矢藤 誠慈郎
7	令和5年 12月2日(土) 13:00~14:30	外国にルーツを持つこどもを地域で支える（1） 外国にルーツを持つこどもたちが等しく育ち、学ぶ権利を実現するために、地域の住民や専門家にどのような支援ができるかについて、実践的な事例を踏まえて学びます。 講師 内田 千春（東洋大学福祉社会デザイン学部子ども支援学科教授）／矢藤 誠慈郎

回	日程	内容
8	令和5年 12月2日(土) 15:00~16:30	外国にルーツを持つ子どもを地域で支える(2) (1)での学びを踏まえたワークショップを通じて、外国にルーツを持つ子どもたちを地域で支えるための取組について考えます。 講師 内田 千春/矢藤 誠慈郎
9	令和5年 12月16日(土) 13:00~14:30	これまでの学びを振り返る ワークショップを通じてこれまでの学びを振り返り、地域で支える子育て環境づくりの課題を抽出します。 講師 矢藤 誠慈郎
10	令和5年 12月16日(土) 15:00~16:30	地域で支える子育て環境を創る 全ての子どもを地域で支えるために、どのような子育て環境を創り出していくかについて、ワークショップを通じてそれぞれの立場で具体的にできることを考えていきます。 講師 矢藤 誠慈郎

備考

- 科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。
- 6ヶ月以上の託児保育があります。

コーディネーターからのメッセージ

矢藤 誠慈郎 先生

現代は、地域社会のつながりが弱まったなか孤立した家庭で子育てが営まれる傾向が強く、親の子育てへの責任や負担が大きな社会です。全ての子どもが尊重され、愛され、安心して未来に向かって育っていけるよう、社会のみんなで支えることがより求められています。「全ての子ども」にどのような子どもたちがいるのか、また多様な子どもたちのあり方や状況や支援などについて具体的に学び、それぞれの立場で何ができるかを共に考えていきましょう。



浦安で、自分らしく、役割を感じながら、楽しく生き抜くために ～居場所・つながり・お互い様の必要性を考える～

コーディネーター 岩室 紳也（ヘルスプロモーション推進センター（オフィスいわむろ）代表）

【科目概要】

岩室紳也は今でも様々な患者さんの診療をさせていただいている医者です。がん・悪性腫瘍を含め、様々な泌尿器科の疾患を持っている方だけではなく、HIV/AIDS、薬物依存症、様々な障がいを抱えている方々と外来という場を活用して向き合い続けています。その一方で、「公衆衛生」という講座を担当させていただいたように、病気や感染症の予防から、一人ひとりにとって大事なことは、最期まで、自分らしく、役割を感じながら、楽しく生き抜くことを一体的に考えられるまちづくりを模索し続けています。もちろんそのためには何より健康であることが大事ですが、健康というと多くの人は個人が「運動・栄養・休養」といった課題に取り組むことと理解しています。もちろんそれも大事ですが、コロナ禍で多くの人が疲弊し、特に女性の自死が増えたように、健康づくりで大事なことは、一人ひとりがつながるために、できる人が、できることを、できる時に、できるようにすることです。一人ひとりが疲れ果てて「もうどうでもいい」という状況にならないような社会を創ることです。一方で「プラン75」という映画が世に送り出されたように、高齢化社会が抱える様々な問題を個人が背負い、解決すべきといった風潮もあります。岩室は長年、浦安市の地域包括ケア評価会議のアドバイザーとして、市民の皆様、行政の職員、そして専門家の方々と一緒に、「居場所・つながり・お互い様」のまちづくりを模索してきました。一人ひとりが、気が付けば、自分らしく、役割を感じながら、楽しく生き抜ける浦安づくりに向けて、この講座でも皆様と一緒に次なるステップを考え、見いだせたらと思っています。

回	日程	内容
1	令和6年 4月8日(月) 13:00～14:30	オリエンテーション 一人ひとりに「必要なこと」を再考します 講座が目指すところを確認し、お互いを知りあう 講師 岩室 紳也（ヘルスプロモーション推進センター（オフィスいわむろ）代表）
2	令和6年 4月22日(月) 13:00～14:30	新型コロナウイルスに学びたいこと 感染予防と人と人の交流の狭間で 講師 岩室 紳也
3	令和6年 5月20日(月) 13:00～14:30	きょうよう、きょういくの大切さ 教養、教育だけでは健康になれない?!? 必要なことは・・・ 講師 岩室 紳也
4	令和6年 6月3日(月) 13:00～14:30	生老病死をどう生き抜くか できる人が、できる時に、できることをする大切さ 講師 岩室 紳也
5	令和6年 6月17日(月) 13:00～14:30	市民と行政が一体となった地域づくり 健康づくりで不可欠な地域づくりとは 講師 岩室 紳也
6	令和6年 7月1日(月) 15:00～16:30	こころが辛い人が増える理由 うつ、不登校、家庭内暴力、犯罪、等々が増える理由、減らすコツ 講師 岩室 紳也
7	令和6年 7月8日(月) 13:00～14:30	高齢者を支える「地域包括ケア」って何？ 浦安市の先進的な地域包括ケアシステムを学ぶ 講師 岩室 紳也／浦安市中央地域包括支援センター

回	日程	内容
8	令和6年 7月29日(月) 13:00~14:30	人と人をつなぐ、人と人がつながる浦安市 浦安市が仕掛けている健康づくり 講師 岩室 紳也／浦安介護予防アカデミア
9	令和6年 8月19日(月) 13:00~14:30	医療を上手に活用するのは住民一人ひとり 住民が医療の主役であるためにできること 講師 岩室 紳也
10	令和6年 9月9日(月) 13:00~14:30	私が実践したいこと、実践していること 講座の学びを実践につなげるには 講師 岩室 紳也

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

講座の様子



コーディネーターからのメッセージ

岩室 紳也 先生

皆さんは既に十分勉強も、情報収集も、ご自身でできることを、頑張れることをやってこられたと思います。医者である私もです。では、これからの人生を生きていく上で何が大事なのでしょう。この講座では参加者同士の交流はもちろんのこと、浦安市役所の健康づくりを担っている職員の方々にも参加していただき、お互いにつながりながら、気が付けば一人ひとりが輝ける街づくりにつなげたいと思っています。



あなたが知らない水の話ー身近な水の分析・利用・処理ー

コーディネーター 斎藤 恭一（千葉大学名誉教授）

【科目概要】

普段、日本で生活していると、断水にもならないかぎり、水で困ることはありません。幸せな国です。歯磨き粉などを製造している会社を経営している友人から「歯磨きに水を使わない国も世界にはあるよ」と聞いて、私は驚きました。地球規模での水の話から、海水、ペットボトルの水、超純水、福島第一原発の汚染水、水道水、家庭排水の話まで、この講座の水の話は広がっています。皆さんが「知らなかったなあ」、「そうだったんだ」と感想をもっただけの内容になっています。

回	日程	内容
1	令和6年 4月9日(火) 15:00~16:30	<p>塩を生む海水とヨウ素を生む古代海水</p> <p>海水には、塩化ナトリウムや苦汁（にがり）だけでなく、リチウムやウランも溶けています。高分子で作ったイオン交換膜を使って食塩を得ています。吸着材を使って金属資源を採取できます。</p> <p>千葉県房総半島の地下深くに閉じ込められた古代海水にヨウ素が濃縮されています。千葉県は世界の4分の1の量のヨウ素を生産しています。ヨウ素はスマホの偏光フィルムや造影剤に利用されています。</p> <p>講師 斎藤 恭一（千葉大学名誉教授）</p>
2	令和6年 4月16日(火) 15:00~16:30	<p>ペットボトルの水とお茶の水</p> <p>山に降った雨が土や岩を浸み通って清い水になります。清水にはカルシウムやマグネシウムが多くは溶けていないので、日本の清水は軟水に分類されます。</p> <p>急須でお茶を淹れると、毎回、味や色が違います。一方、自販機やコンビニに並んでいるボトルに入っているお茶の味や色はいつも同じです。苦み調整のために、カテキンを捕捉する吸着材を使うことがあります。</p> <p>講師 斎藤 恭一</p>
3	令和6年 4月23日(火) 15:00~16:30	<p>水と気候変動・災害</p> <p>人間による持続可能性を無視した水の過剰な使用は、水資源の欠乏や水環境（河川や海洋）への有害物質の排出などによる汚染につながり、環境・生態系の劣化をもたらしています。水に関連した環境の悪化は、世界的な問題であり、地球温暖化に伴う気候変動の進行によりさらに深刻化が予想されています。ここ数十年の間に気候変動が一因となって降雨のパターンの変化、海面上昇、渇水や洪水、台風などが起こりやすくなっています。</p> <p>講師 小熊 幸一（千葉大学名誉教授）</p>
4	令和6年 5月14日(火) 15:00~16:30	<p>日本の水問題</p> <p>日本の年間降水量は約6,400億m^3ですが、そうち約36%は蒸発散し、残りの約4,100億m^3が利用可能な水の量（水資源賦存量）で、実際に使われている水の量は809億m^3です。生活用水や工業用水は、1960年代半ばから2000年までの間に約3倍に増加しましたが、近年は生活用水の使用量が横ばいで、工業用水は回収利用が進み、河川等からの取水量は少しずつ減少しています。日本は水の豊かな国ですが、河川の水量は年間を通じて大きく変動します。</p> <p>講師 小熊 幸一</p>

回	日程	内容
5	令和6年 5月21日(火) 15:00~16:30	世界の水問題 地球上の水の97%は塩分を含む海水で、残りの淡水も多くは氷雪、氷河の形態で存在していて、利用できません。さらに、残りの液体状の水の大半は地下水として地中深く浸透していて、人間が利用可能な淡水はたったの0.01%しかありません。水不足を招いている最大の要因は人口増加です。日本は人口減少の傾向が見られますが、世界全体では2025年までの数値予測でも人口と水利用量はともに急増すると見込まれています。 講師 小熊 幸一
6	令和6年 5月28日(火) 15:00~16:30	放射線と水分析 原子力発電所の多くは海の近くに建設されています。発電には大量の水が欠かせないからです。発電所周辺の水環境の安全性を確認する目的で、さまざまな放射性物質の分析がおこなわれています。放射性物質は化学物質とは異なり、分析中に刻々と変化するやっかいな性質があります。講義では、こうした放射性物質の特性に着目しながら分析の実際の様子をご紹介します。 講師 浅井 志保（国立研究開発法人産業技術総合研究所主任研究員）
7	令和6年 6月4日(火) 15:00~16:30	福島第一原発の汚染水の処理 東日本大地震に伴って発生した大津波に襲われて、近くの沿岸にあった原子力発電所でメルトダウン事故が起きました。壊れた原子炉建屋に流入した地下水が溶融燃料に接触して、放射性物質が地下水にわずかに溶けました。港湾に流出した地下水で汚された海水から放射性セシウムを、吸着繊維を使って除去できます。 講師 斎藤 恭一
8	令和6年 6月11日(火) 15:00~16:30	水道水の製造と家庭排水の処理 浄水場は河川水から安全な水道水を製造する施設です。そこでは、水がすぐには腐らないように塩素殺菌を実施しています。私たちは水を飲み、使い、最後は、台所、トイレ、風呂の排水口から水を管に流しています。その水は下水処理場に集められ、規制基準にまできれいにして川に戻されています。 講師 斎藤 恭一
9	令和6年 6月18日(火) 15:00~16:30	人工降雨 中国や中東の降水量の少ない地域では、人工降雨が大規模に実施されています。氷晶の核となるヨウ化銀の微粉末を航空機から雲の中に噴射して雨を降らせます。人工降雨の歴史と功罪、そしてヨウ化銀の新しい利用法を紹介します。 講師 斎藤 恭一
10	令和6年 7月2日(火) 15:00~16:30	スマホ部品の製造に必須の超純水 ミリメートルのサイズで高性能を示す電子材料には、微細な電子回路が何層にも集積されています。そのおかげでスマホが高性能です。集積回路に不良が起きないように、回路を洗う「超純水」が不可欠です。川の水から、溶けていない成分はもちろんのこと、溶けている成分も徹底的に除去して超純水を製造します。 講師 斎藤 恭一

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

コーディネーターからのメッセージ

斎藤 恭一 先生

私の研究グループは、富士山の湧き水にレアメタルの一つであるバナジウムが溶けていると知って、タンニン酸を固定した繊維を作製してバナジウムを捕集しました。また、フェロシアン化コバルトという無機化合物の沈殿を繊維の表面に固定して、福島第一原子力発電所の汚染水から放射性セシウムを除去しました。

私の他に、2名の水の専門家を講師としてお招きしています。受講者の皆さんが「知らなかったなあ」「そうだったんだ」と感想をもっていただけの講座になっています。



花のまちづくりのための基礎講座－花・緑・人をつなぐガーデニング－

コーディネーター 大嶋 陽子（いくにわラボラトリー代表／ガーデンデザイナー）

【科目概要】

本講座は10年に亘って「うらやすのまちを花で彩る」ことを目標に継続的に開催してまいりました。受講生による「うらやすガーデナーズクラブ」も組織され、まちづくり活動プラザ内と市内での実践活動を行っています。

講座では園芸の基礎や実習、様々な講師による豊富な花の情報から園芸を広く学ぶことができます。初心者から経験者まで、園芸を通じた社会貢献やコミュニケーション活動をしたいと思う方など市民の皆様のご参加をお待ちしております。

回	日程	内容
1	令和6年 4月8日(月) 15:00～16:30	園芸の基礎講座 花壇づくりに適する草花の種類、土や肥料、道具類など園芸の基礎知識を学びます。 講師 大嶋 陽子（いくにわラボラトリー代表／ガーデンデザイナー）
2	令和6年 4月22日(月) 15:00～16:30	種まき・苗づくり（実習その1） 花壇づくりに必要な種まきの仕方、苗づくりの方法、良い苗の選び方などについて実習します。 講師 大嶋 陽子／うらやすガーデナーズクラブ
3	令和6年 5月13日(月) 15:00～16:30	知っておきたい日本の園芸文化 江戸時代、わが国は世界最高水準の園芸文化を持っていました。それは結果として幕末に訪れた外国人を驚嘆させ、美しいまちやむらを生み出す源ともなっていました。浦安で園芸を通じて豊かで住みよいまちにするために、その園芸文化の特徴や今後の活動への示唆を学びます。また、浦安市のみどりに関する総合的な指針である「浦安市緑の基本計画」について担当課よりお話しします。 講師 賀来 宏和（千葉大学大学院園芸学研究科客員教授）／浦安市みどり公園課／大嶋 陽子
4	令和6年 5月27日(月) 15:00～16:30	ハンギングバスケットづくりと楽しみ方（実習その2） ハンギングバスケットの楽しみ方を学び、実際に夏に向けてのハンギングバスケットづくりの実習を行います。 講師 山口 まり（園芸研究家／NHK「趣味の園芸」講師）／大嶋 陽子
5	令和6年 6月10日(月) 15:00～16:30	花壇づくりの基礎知識 花壇やコンテナガーデンをつくるための基礎知識や日常的な管理方法について学びます。 講師 大嶋 陽子
6	令和6年 6月24日(月) 15:00～16:30	挿し芽や挿し木による増殖（実習その3） 宿根草や花木の挿し穂のつくり方や使用する用土の知識、発根促進の方法とその後の管理について実習します。 講師 大嶋 陽子／うらやすガーデナーズクラブ
7	令和6年 7月22日(月) 15:00～16:30	園芸のトレンドと植物選びのポイント 注目の園芸植物やカラーリーフなど、花壇づくりに役立つ植物の選び方や入手の仕方、栽培方法について学びます。 講師 片山 陽介（園芸研究家／植物自由区代表）／大嶋 陽子

回	日程	内容
8	令和6年 8月19日(月) 15:00~16:30	バラの楽しみ方と栽培の基礎 バラの基礎知識と選び方、年間を通した栽培の方法について学びます。 講師 大嶋 陽子
9	令和6年 9月9日(月) 15:00~16:30	花壇づくりの実践（実習その4） 花壇づくりの基礎知識をもとに、実際の花壇を使って土づくり、苗の選び方、植え方などを実習します。 講師 大嶋 陽子／うらやすガーデナーズクラブ
10	令和6年 9月17日(火) 13:00~16:30	花のまちづくり運動と浦安での事例 全国で行われている花のまちづくりの事例とともに市民協働で行う花のまちづくりを進める上での要点などを学びます。また、浦安市内で行われている市民による緑化活動の現場を訪ねて、交流を図ります。 講師 和田 博幸（公益財団法人日本花の会特任研究員）／浦安市みどり公園課／ 大嶋 陽子

講座の様子



コーディネーターからのメッセージ

大嶋 陽子 先生

暮らしやすいまちづくりには様々な人と人のコミュニケーション活動が大切です。高齢化社会を迎えた今、花や緑は世代を超えた人の繋がりや社会貢献活動に広く役立ちます。温暖化や地球環境の変化などで従来の植物も育ちにくくなっていますが、私たちひとりひとりが身近な花や緑に関心を持ち、少しでも多くの緑を育て、四季の花を楽しめる浦安のまちづくりに役立つ講座にしていきたいと思います。



家族とまちを守るみんなの防災—家族の自助なくして、まちの共助なし—

コーディネーター 中林 一樹（東京都立大学名誉教授）

インストラクター 吉川 忠寛（防災都市計画研究所代表）

【科目概要】

阪神・淡路大震災（1995）、新潟県中越地震（2004）、東日本大震災（2011）、熊本地震（2016）、北海道胆振東部地震（2018）と震度7の地震がその発生間隔を縮めて発生しています。その間にも各地で風水害が発生し、千葉県も被災しました。このような荒ぶる21世紀に私たちは生きています。災害の続発は、一つの災害が復旧・復興する間もなく次の災害に襲われ、被害地がさらに拡大するような、“複合災害の時代”なのです。このような時代に、私たちは首都直下地震を中心に水害にも備えて、どのように家族とまちを守ることができるのでしょうか。「家族とまちを守る一人一人の防災」をみんなで考え、家族ぐるみ地域ぐるみで防災に取り組む機会としませんか。

回	日程	内容
1	令和6年 4月20日(土) 13:00~14:30	最近の災害にみる特徴と課題—複合災害が被害を拡大する— 阪神・淡路大震災以降、毎年のように地震災害や風水害が発生し、しかも災害が複合化して被害が拡大していく「複合災害の時代」に向かっています。 講師 中林 一樹（東京都立大学名誉教授）
2	令和6年 4月20日(土) 15:00~16:30	災害とは何か、防災とは何か 大きな地震や台風が発生することが災害でしょうか。被害が出なければ、どんな大きな地震や台風でも災害ではない。災害の発生とは、地震や台風などの外力に対して建物やまちに被害が出ることで、防災とはその被害を軽減することです。 講師 中林 一樹
3	令和6年 5月11日(土) 13:00~14:30	「首都直下地震」の被害想定と被災様相 首都直下地震の被害想定（内閣府2013）から首都圏を襲う震災の特徴とその課題を考える。そして現代都市のリスクとは、想定できる物的被害よりも被害想定されていない広域電力喪失というようなりスクについて考えます。 講師 中林 一樹
4	令和6年 5月11日(土) 15:00~16:30	浦安直下地震の被害想定と被災様相 東日本大震災時の浦安の被害と浦安直下地震の被害想定（2013）を比較して、首都直下地震時やその後に危惧される風水害との複合災害に対する浦安のリスクをみんなで“想像”してみましょう。 ＊宿題：我が家の「家具配置・食の備蓄」の点検 講師 中林 一樹
5	令和6年 5月25日(土) 13:00~14:30	自助の取り組み① 我が家の耐震化・家具の固定 地震災害対策の基本は地震動に対する被害軽減です。建物の揺れ方の特徴を学び、建物と室内空間の耐震化、とくに家具配置・照明器具など、我が家の室内の安全化に向けた“改造プラン”を考える。 講師 中林 一樹
6	令和6年 5月25日(土) 15:00~16:30	自助の取り組み② 我が家の食の備え コロナ対策として分散批判が提案されています。「災害時は避難所へ」から「災害時も在宅避難で」に変わってきました。その時に、家族が生き延びるための我が家の「食・飲料水」など備蓄や準備を考える。 講師 中林 一樹

回	日程	内容
7	令和6年 6月8日(土) 13:00~14:30	浦安の「防災まち歩き」(グループ) 歴史的な浦安の街並みが残る猫実地区のまち歩きで、木造住宅が密集した地区での防災まちづくりの課題と現状を考えます。 講師 中林 一樹/吉川 忠寛 (防災都市計画研究所代表)
8	令和6年 6月8日(土) 15:00~16:30	浦安の「防災まち歩き」のまとめ(ワークショップ) 猫実地区の防災課題を整理し、こうした歴史的な街並みと新しいマンションを中心とする地域で構成された浦安のまちで生き延びるための、地域連携によるみんなでとりくむ「浦安防災」を、皆さんで考えてみましょう。 講師 中林 一樹/吉川 忠寛
9	令和6年 6月22日(土) 13:00~14:30	共助の取り組み① 家族と地域の安否確認(ワークショップ) マンション団地居住者と一般市街地居住者のグループにわかれて、被災直後の安否確認や負傷者支援活動について考えてみましょう。 講師 中林 一樹/吉川 忠寛
10	令和6年 6月22日(土) 15:00~16:30	共助の取り組み② 地域での要配慮者支援(ワークショップ) マンション団地居住者と一般市街地居住者のグループにわかれて、マンションでの在宅避難の支援の在り方や、一般市街地での避難行動や在宅避難生活の支援体制や避難所運営の在り方を考えてみましょう。 講師 中林 一樹/吉川 忠寛

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

講座の様子



コーディネーターからのメッセージ

中林 一樹 先生

阪神・淡路大震災から27年、東日本大震災から12年。この間に最大震度7の地震はその間隔を縮めつつ5回も発生し、その間に各地で風水害が多発しています。日本の21世紀は大地動乱・大気乱流・大水氾濫の荒ぶる災害多発時代のようなのですが、同時に史上初の超少子化と高齢化が進展する漸弱な社会に向かっています。

そんな災害多発の時代に、私たちは、どのようにして家族とみんなのまち浦安を守っていけるでしょうか。まず一人一人が被害者にならないように、自分と家族を守る「自助の取り組み」の実践が最も基本です。その上で、被害を免れた人が近隣の支援を行う「近助」こそが、災害時の共助なのです。つまり「自助が共助を可能とする」のです。そんな「自助と共助で誰も死なない“みんなの防災”」をワークショップやまち歩きを交えて学びましょう。



浦安のマンション居住の未来を考えるー超高齢社会の迎え方を考えるー

コーディネーター 廣田 信子（マンション総合コンサルティング(株) 代表／一級建築士／マンション管理士）

【科目概要】

浦安は不動産市場として魅力があると言われています。浦安市は、現在、国が策定したマンション管理に関する基本的な方針に基づき、マンション管理の適正化を図るための認定制度等を含むマンション管理適正化推進計画の策定に向けた検討を進めているところです。また、今後は管理が不適切なマンションに対し、助言、指導及び勧告を行っていく予定です。同時に、マンションは、地球環境の保全のための仕組みを取り入れることが求められます。30年後のマンションがどうなっているのかを考えての管理組合運営が求められます。

一方、高齢化は進み、90歳代、100歳を超える一人暮らしの方も増えてきます。また、高齢者の5人に1人は認知症を発症するといえます。いつまでマンションの一議決権を持つ区分所有者でいるのか、広いマンションに一人で住み続けるかも考える必要があります。

浦安と言う地のマンションに暮らし、ここでの暮らしに満足している方々が、介護が必要になっても、認知症を発症しても、豊かに暮らせるように、一区分所有者として、一居住者として、今から何をすればいいかを考えます。マンションの未来は、そこに暮らす人たちの思いと深く関係するのです。

回	日程	内容
1	令和6年 4月15日(月) 13:00~14:30	浦安のマンション居住について考える 浦安のマンションでの高齢期の迎え方について考えます。 講師 廣田 信子(マンション総合コンサルティング(株)代表／一級建築士／マンション管理士)
2	令和6年 5月13日(月) 13:00~14:30	管理計画認定制度との向き合い方 管理計画認定制度の概要と、それにどう向き合えばいいのかを考えます。 講師 廣田 信子
3	令和6年 5月27日(月) 13:00~14:30	長寿命化に本気で取り組んだマンション 耐震性不足、エレベーターがない高経年マンションが、本気で、耐震改修、エレベーター設置に取り組んだ事例をお話し頂きます。 講師 平田 英雄 (マンション管理士) / 廣田 信子
4	令和6年 6月10日(月) 13:00~14:30	区分所有者の高齢化対策を法令から考える 高齢化が進むと、マンションにおいても、認知症対策や亡くなった後の円滑な相続を考える必要があります。管理組合として、どこまで許されるのかを弁護士の先生と共に考えます。 講師 内田 耕司 (弁護士) / 廣田 信子
5	令和6年 6月24日(月) 13:00~14:30	見学会 介護付きホーム「浦安エデンの園」 入居時自立の介護付き有料老人ホームがコロナ禍をどう乗り切ったか、超高齢者の増加がどんな影響を与えているか等を伺います。 講師 廣田 信子
6	令和6年 7月1日(月) 13:30~15:00	見学会 サービス付き高齢者向け住宅「銀木犀(浦安)」 住民との交流はコロナ禍でどうなったか、自立支援の仕組みはコロナ禍でどう取り組んだか、介護サービスを必要とする入居者は増えていないか等を伺います。 講師 廣田 信子

回	日程	内容
7	令和6年 7月22日(月) 13:00~14:30	地域包括支援センターの取り組み マンション居住の超高齢世帯、一人暮らしの高齢者へのサポートの取り組み、認知症高齢への取り組み、一人暮らし高齢者の在宅介護の可能性について伺います。 講師 高洲地域包括支援センター職員／廣田 信子
8	令和6年 8月5日(月) 13:00~14:30	マンション管理適正化推進計画と管理計画認定制度 適正化法改正に伴うマンション管理適正化推進計画の概要についてお話しします。 講師 浦安市都市政策部住宅課／廣田 信子
9	令和6年 8月26日(月) 13:00~14:30	マンションのコミュニティとガバナンスについて考える マンションの高経年化に対するガバナンスと、人と人が触れ合うコミュニティは深い関係がありながら、異なります。マンションの資産を維持する仕組みと、その暮らす人が幸せを感じる仕組みを理解していくことが重要です。その違いと関係について学びます。 講師 小杉 学（明海大学不動産学部准教授）／廣田 信子
10	令和6年 9月2日(月) 13:00~14:30	ワークショップ「マンション居住の未来を考える」 自分が浦安のマンションで（又は住み替えて）ずっと幸せに暮らすために、今何をすべきかを考え、発表していただきます。 講師 廣田 信子

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

講座の様子



コーディネーターからのメッセージ

廣田 信子 先生

浦安市のマンションは、今後急速に高齢化が進みます。90歳代、100歳以上の高齢者も増えます。不動産価値を維持するのも大切ですが、自分が高齢になって、介護が必要になったり、認知症を発症しても、ここで幸せに暮らせるように、今から考えてみたいと思います。今のマンションではない終の棲家の可能性も考えます。その時の自分のイメージを持って、初めて、30年後、50年後のマンションの未来を考えることができますと思います。



高齢化する市民社会における経済と法－市民社会の「知」の探求－

コーディネーター 兼重 賢太郎（明海大学不動産学部教授）

【科目概要】

これからの日本社会では、大都市圏においても、財政的・都市空間的にダウンサイジング（縮退化）の局面を迎えることが予想されます。現在は、豊かな財政を誇り、住民の平均年齢が千葉県内で最も若い浦安市においても、将来、この流れとまったく無縁であり続けることは難しいものと考えられます。

このような認識のもと、本講義では、浦安市のもつポテンシャルと課題を踏まえつつ、今後予想される社会経済動向やライフスタイルの変化に着目しながら、主に経済学的・法学的観点から、これからの地域社会を主体的に支えていく市民として必要な視点・社会との関わりかたなどについて、受講生の皆さんと一緒に考えていく予定です。

回	日程	内容
1	令和6年 4月24日(水) 10:00～11:30	ガイダンス、財政問題と税の将来 この講義全体のねらいについてお話するとともに、浦安市や千葉県、日本の財政の現状と将来の予想、市民が負担する税の問題等について把握し、よりよいありかたについて考えます。 講師 藤原 徹（元明海大学教授）／兼重 賢太郎（明海大学不動産学部教授）
2	令和6年 5月8日(水) 10:00～11:30	「都市」としての浦安市 浦安市は約17万人の人口を抱える都市であると同時に、東京のベッドタウンとしての顔も持っています。浦安市をはじめとして、「都市」がなぜ形成されるのでしょうか。「都市」にはどのような利点や問題点があり、どのような政策が必要とされるのでしょうか。経済学的な視点を紹介しつつ、これからのありかたについて考えます。 講師 藤原 徹／兼重 賢太郎
3	令和6年 5月22日(水) 10:00～11:30	交通問題の現状と課題 浦安市は首都高速道路やJR京葉線、東京メトロ東西線など、東京や千葉方面への交通が便利な反面、時間帯によっては激しい混雑も発生しています。混雑をはじめとした交通問題の現状を把握するとともに、その対策のありかたについて考えます。 講師 藤原 徹／兼重 賢太郎
4	令和6年 6月5日(水) 10:00～11:30	公共施設・公共サービスの料金設定のありかた 公共施設や公共サービスの利用料金は無料あるいは低く抑えられるべきだと考える方もいらっしゃることでしょう。この回では、公共施設や公共サービスの料金設定のありかたや運営上の課題について考えてみます。 講師 藤原 徹／兼重 賢太郎
5	令和6年 6月19日(水) 10:00～11:30	事業評価の方法 新規の公共事業を実施すべきかどうかはどのように判断すればよいのでしょうか。「無駄」な公共事業や公共事業の「必要性」とはどのような意味でしょうか。費用便益分析や費用対効果分析といった、事業評価の手法のほんのさわりを紹介し、市民の視点からの公共事業の実施へのかかわりかたについて考えてみたいと思います。 講師 藤原 徹／兼重 賢太郎

回	日程	内容
6	令和6年 7月3日(水) 10:00~11:30	都市の縮退化時代における住まいと法 人口減少社会の到来が唱えられる中、市街地の拡大を基調とした都市政策からの転換を目指し、近時、「エコ・コンパクトシティ」「賢い縮退（スマートシュリンク）」などの都市政策の理念が提示されつつあります。空き家・空き地などをはじめとした住まいの問題、都市縮退化時代における建物・土地の「過少利用」の問題などについて、法制度はどのように対応できる／すべきなのか、考えていきたいと思ひます。 講師 兼重 賢太郎／藤原 徹
7	令和6年 7月17日(水) 10:00~11:30	これからの福祉・介護のあり方と法 高齢化社会における福祉や介護は、そのサービスを受ける人たちだけの問題ではなく、そのサービスを担う人たち・組織、そしてサービスを支える制度の問題でもあります。持続可能な福祉・介護サービスを維持していく上で、現状の法制度が抱える課題やその改善等について、考えていきたいと思ひます。 講師 兼重 賢太郎／藤原 徹
8	令和6年 7月31日(水) 10:00~11:30	世代間の財産承継と法 典型的な財産承継は「相続」ですが、俗に「争族」ともいわれるように、親族間の紛争にまでエスカレートしてしまうことも、少なくありません。「相続」に関し、現状の法制度が抱えている問題・課題を踏まえた上で、「家族信託」などの活用について、考えていきたいと思ひます。 講師 兼重 賢太郎／藤原 徹
9	令和6年 9月4日(水) 10:00~11:30	AI 社会と法 これからの社会では、ますます AI（人工知能）・ロボットの果たす役割が大きくなることを予想されます。AI が社会の中で広く受容され、うまく活用されていくためには、技術的な進展のみならず、法制度の整備も必要となってきます。例えば、自動走行車の事故の責任はどうなるかなど、いくつかの想定されるケースをもとに、AI 社会における法制度の課題やありかたについて、考えていきたいと思ひます。 講師 兼重 賢太郎／藤原 徹
10	令和6年 9月18日(水) 10:00~11:30	これからの市民社会における法と経済 これまでの講義全体を振り返るとともに、受講生の方々と一緒に、これからの市民社会における法と経済について、幅広く考えていきたいと思ひます。 講師 兼重 賢太郎／藤原 徹

備考

○科目の一部内容・スケジュール等は変更になる場合があります。

コーディネーターからのメッセージ

兼重 賢太郎 先生

「経済」や「法」と聞くと、みなさんの中には、やや小難しいイメージをお持ちになる方もいらっしゃるかもしれません。しかし、「経済(学)」も「法(学)」も、近代市民社会の成長とともに発展してきた歴史をもちます。近代経済学の祖といわれるアダム・スミスは「市民社会」の成立条件を考察したと言われますし、また、法に関していえば、英語で民法は「civil law (市民の法)」なのです。これからの市民社会のあり方、市民社会の担い手のあり方などを皆さんと一緒に考えていければと思います。





アクセス



《公共交通機関》

- ◎JR新浦安駅から徒歩約12分
- ◎おさんぽバスじゅんかい線
「入船北団地」下車徒歩約5分
「美浜公民館」下車徒歩約7分
- ◎ベイシティバス1系統「入船六丁目」下車徒歩約5分

《お車でお越しの場合》

- ◎駐車スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- ◎市民大学専用の駐車場ではありません。
- ◎駐車後、1階管理室にて駐車場利用簿にご記入いただく必要があります。



まちづくり活動プラザとは…

まちづくり活動プラザは、様々な世代の人々が交流やまちづくり活動をすることができる施設です。入船地区学校統合に伴い、「旧入船北小学校」をリニューアルし、平成30年度にオープンしました。施設では、まちづくり活動団体による7事業と市の4事業が運営されています。また、市民の皆さんが活動できる多目的室や体育館、運動場もあります。

問い合わせ先

浦安市市民経済部市民大学校 (うらやす市民大学事務局)

〒279-0012

千葉県浦安市入船五丁目45番1号
(浦安市まちづくり活動プラザ3階)

TEL : 047-351-4811

E-mail :

shimindaigaku@city.urayasu.lg.jp

※うらやす市民大学は、学校教育法上の大学ではありません。正式名称は「浦安市市民大学校」であり、「うらやす市民大学」は愛称として用いています。